

医療介護福祉政策研究フォーラム  
第41回 月例社会保障研究会

## 人が集まる建築・居場所としての環境

2016年9月15日(木) 18:30~20:30

日本プレスセンタービル10階 ホールAC

環境建築家  
環境デザイン研究所 会長  
公益社団法人こども環境学会代表理事  
東京工業大学名誉教授  
仙田 満

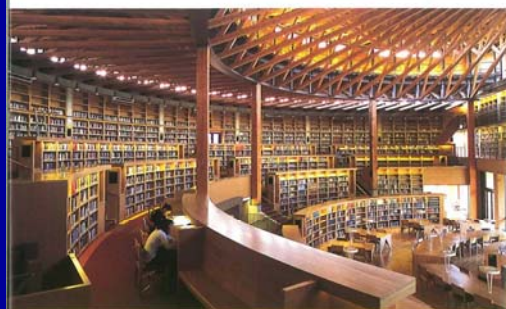
1. 人が集まる建築
2. 環境デザイン研究
3. 遊環構造
4. 遊環構造の展開
5. こどもが未来をつくる

# 1. 人が集まる建築

## 人が集まる建築

環境×デザイン×こどもの研究

仙田 満



なぜあの空間には  
みんなを笑顔にする  
力があるのだろうか？

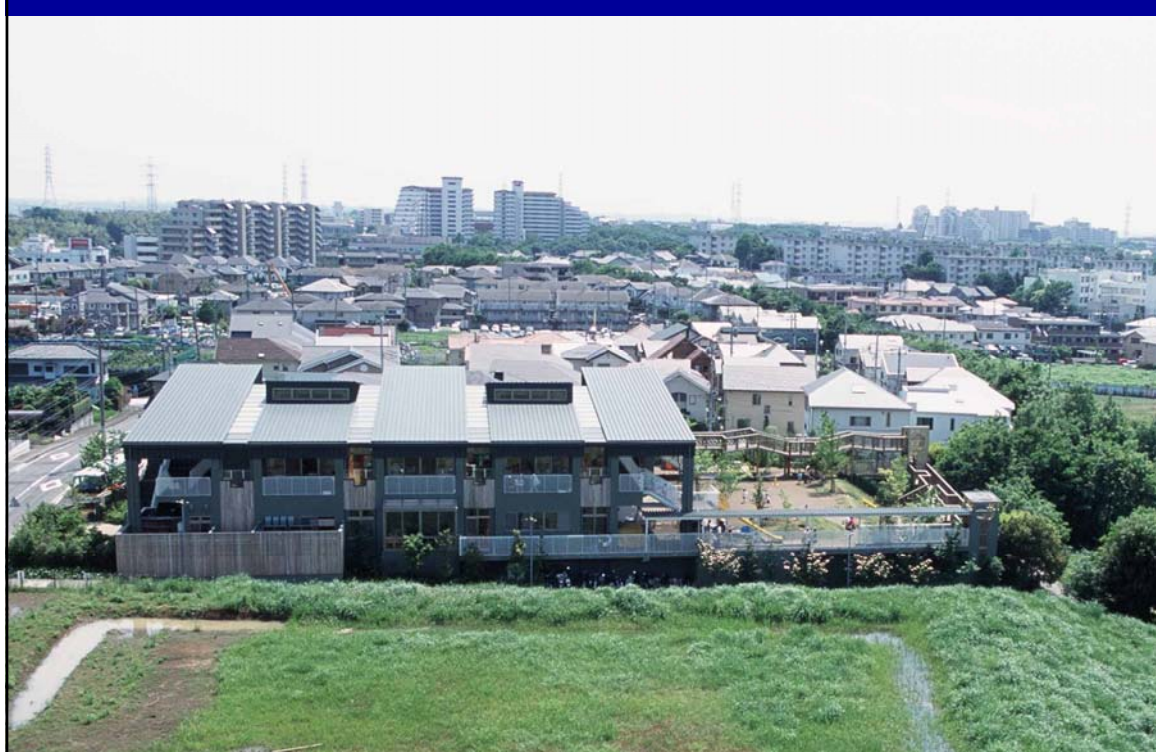
新広島市民球場、国際教養大学図書館、  
こどもが喜ぶ多数の施設をつくった環境建築家が  
明かす「また来たくなる」設計の発想

講談社現代新書

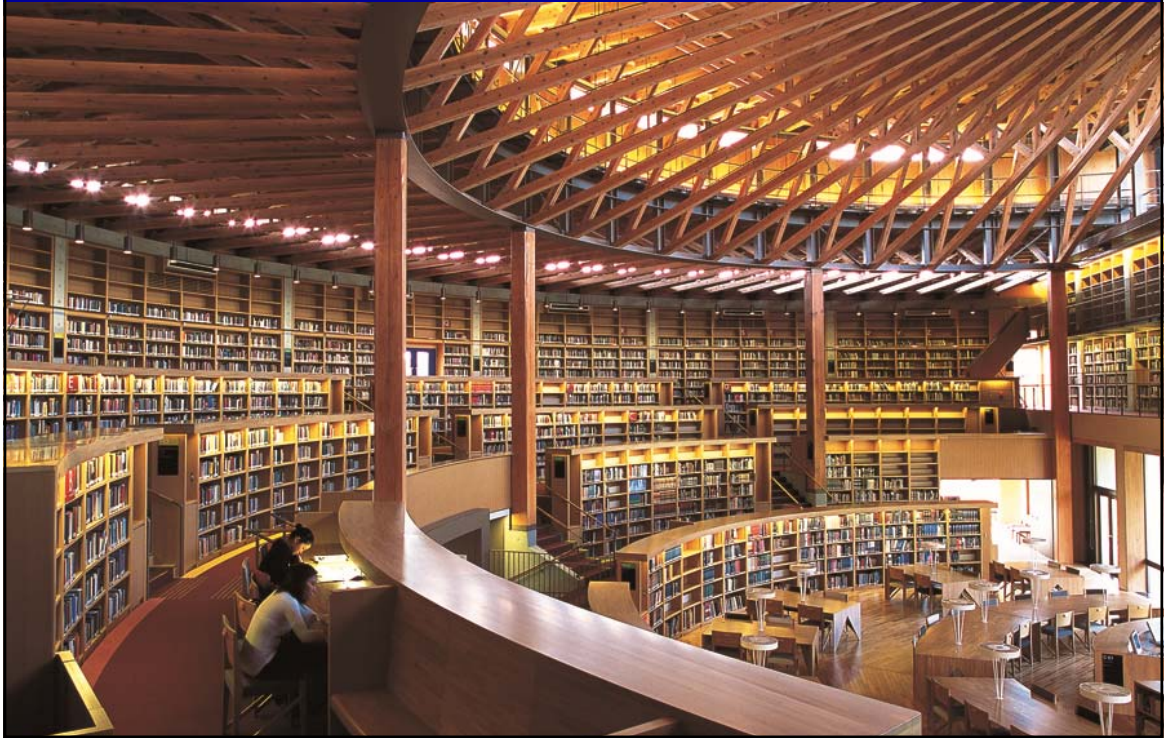
広島市民球場（2009）



ゆうゆうのもり幼保園（2005）



## 国際教養大学 図書館棟 (2008)



## 2. 環境デザイン研究

こどもの国 林間学校(1967)

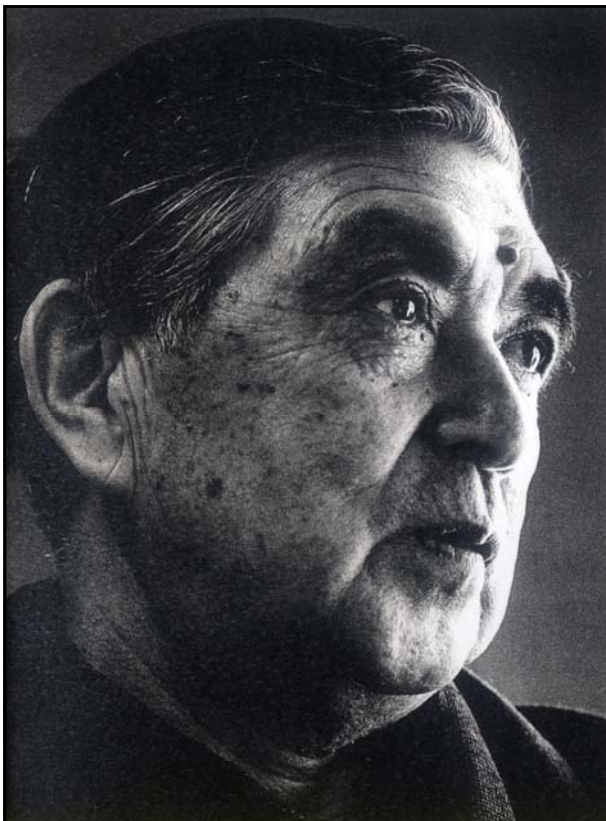
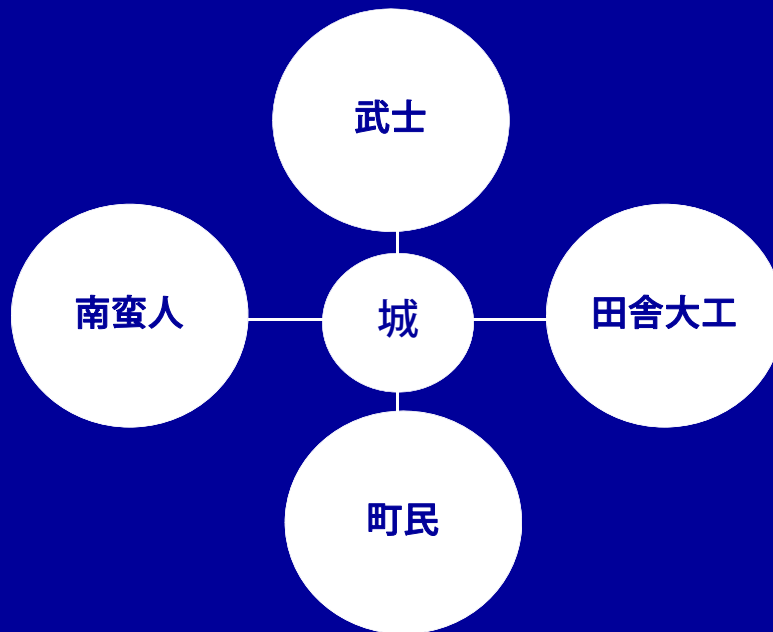


Himeji Castle 姫路城(1609)



新たな様式は、多くの異なる分野のデザイナーの共同により作られる。

## 城をつくった人々



### 「清らかな意匠」

- 環境の意匠
- 環境の設計
- 環境美
  
- 工業と文学の統合
- 芸術と技術の統合

谷口吉郎  
(1904-1979)

慶應義塾幼稚舎本館 (1937)



藤村記念堂  
(1947)





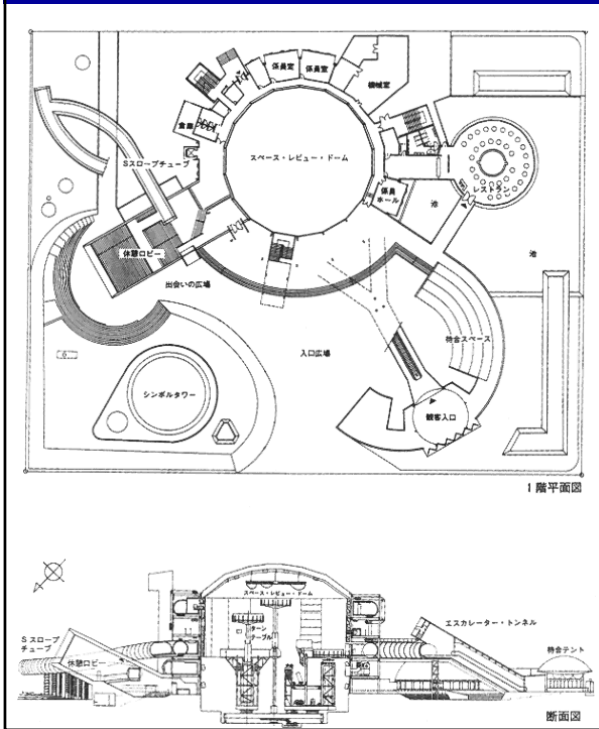
関係性、統合性、調和性、参加性

## 大阪万国博覧会「EXPO' 70」





# 三井グループ館



# 環境と関係



# 環境デザインの座標

| 環境デザイン<br>空間デザイン       | universal design |                       |              |                 | green design               | cultural design |
|------------------------|------------------|-----------------------|--------------|-----------------|----------------------------|-----------------|
|                        | 子ども<br>children  | 高齢者<br>senior citizen | 女性<br>femele | 身障者<br>disabled | 地球環境<br>global environment | 文化              |
| 地球 earth               |                  |                       |              |                 |                            |                 |
| 国土 land use            |                  |                       |              |                 |                            |                 |
| 地域 regional design     |                  |                       |              |                 |                            |                 |
| 都市 urban design        |                  |                       |              |                 |                            |                 |
| 土木 civil engineering   |                  |                       |              |                 |                            |                 |
| 建築 architecture design |                  |                       |              |                 |                            |                 |
| 造園 landscape design    |                  |                       |              |                 |                            |                 |
| インテリア interior design  |                  |                       |              |                 |                            |                 |
| I.D. industrial design |                  |                       |              |                 |                            |                 |
| Graphic graphicdesign  |                  |                       |              |                 |                            |                 |
| P.D. product design    |                  |                       |              |                 |                            |                 |

環境デザインの領域は空間の領域を通貫する

## 3. 遊環構造

## 野中保育園(1972)



## 日本大学芸術学部の遊具プロジェクト (1972~1982)



## 1. 共同設計

ー協力、コミュニケーション力、説得力

## 2. 予算

## 3. 評価

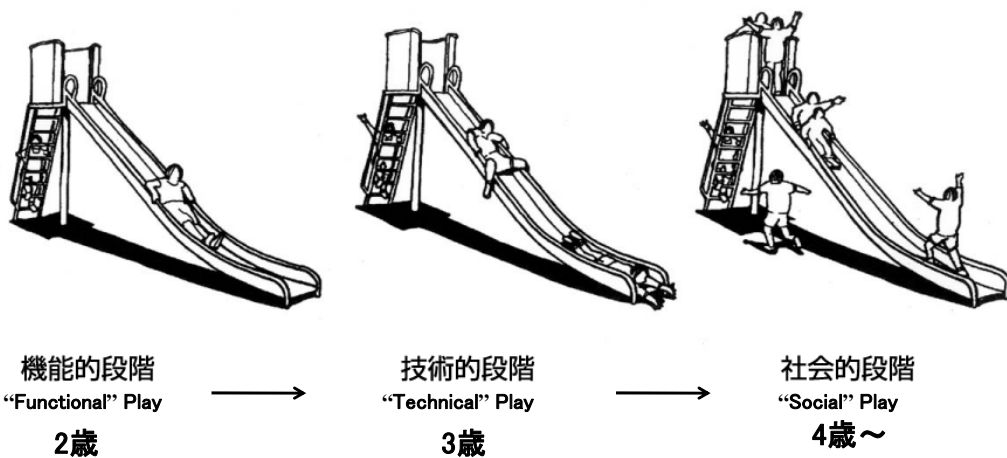
- ・クライアント・利用者の評価
- ・こどもの評価
- ・デザインのカ

## 4. 安全性

## 5. 材料の発見

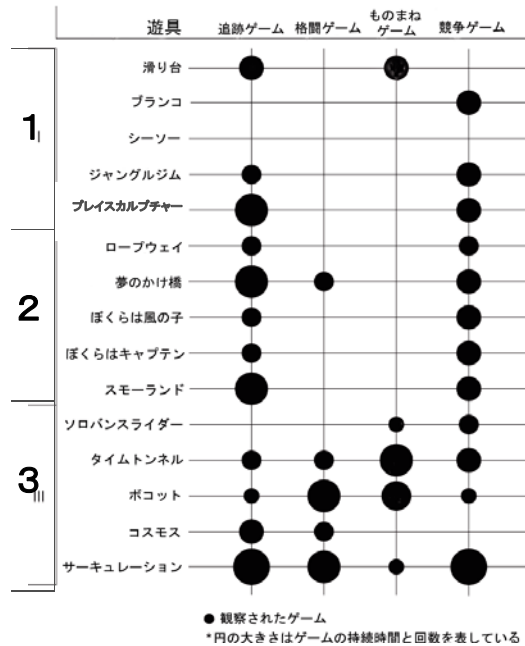
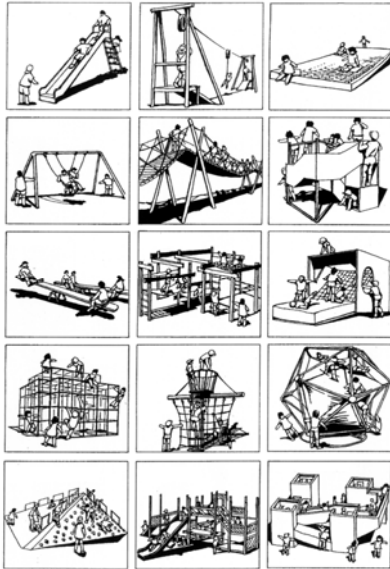
## 遊具におけるあそびの発展段階

Development Stages of Play on Play Structures

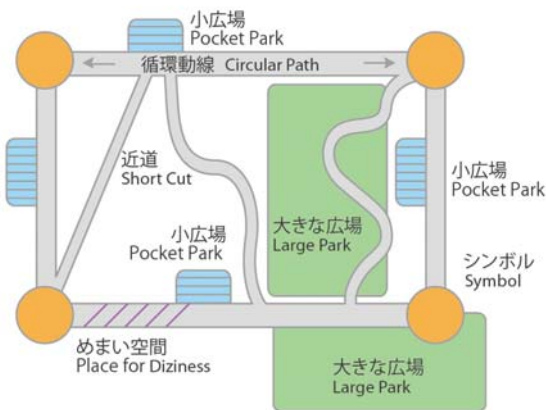


# 調査遊具とゲーム発生頻度

カテゴリ-1 カテゴリ-2 カテゴリ-3



## 遊環構造 Circular Play Systems



- ① 循環機能があること
- ② その循環（道）が安全で変化に富んでいること
- ③ その中にシンボル性の高い空間、場があること
- ④ その循環にめまいを体験できる部分があること
- ⑤ 近道（ショートサーキット）ができること
- ⑥ 循環に広場、小さな広場などが取り付いていること
- ⑦ 全体がポーラスな空間で構成されていること

- ① There must be an overall circulation of play.
- ② Children must be able to experience variation within the circle.
- ③ The circle must contain a symbolic high point.
- ④ The circle must contain a place where children can experience "dizziness."
- ⑤ The circle must contain large and small gathering places
- ⑥ There must be shortcuts.
- ⑦ The circle must be accessible through a number of points so that it comprises a "porus" space.

走り回る、遊び回ること、子どもは多くの学びを得る

## ポジティブなサイクルを生む「I.C.S循環」



興味をもち (interest)

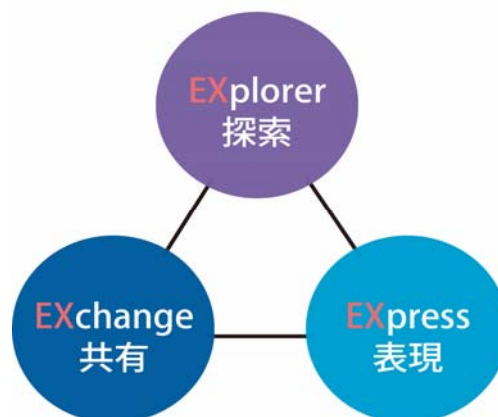
挑戦し (challenge)

成功する (success)

意欲を生む循環

人にとってポジティブな循環が生まれる空間をつくることで、様々な意欲を引き出します。

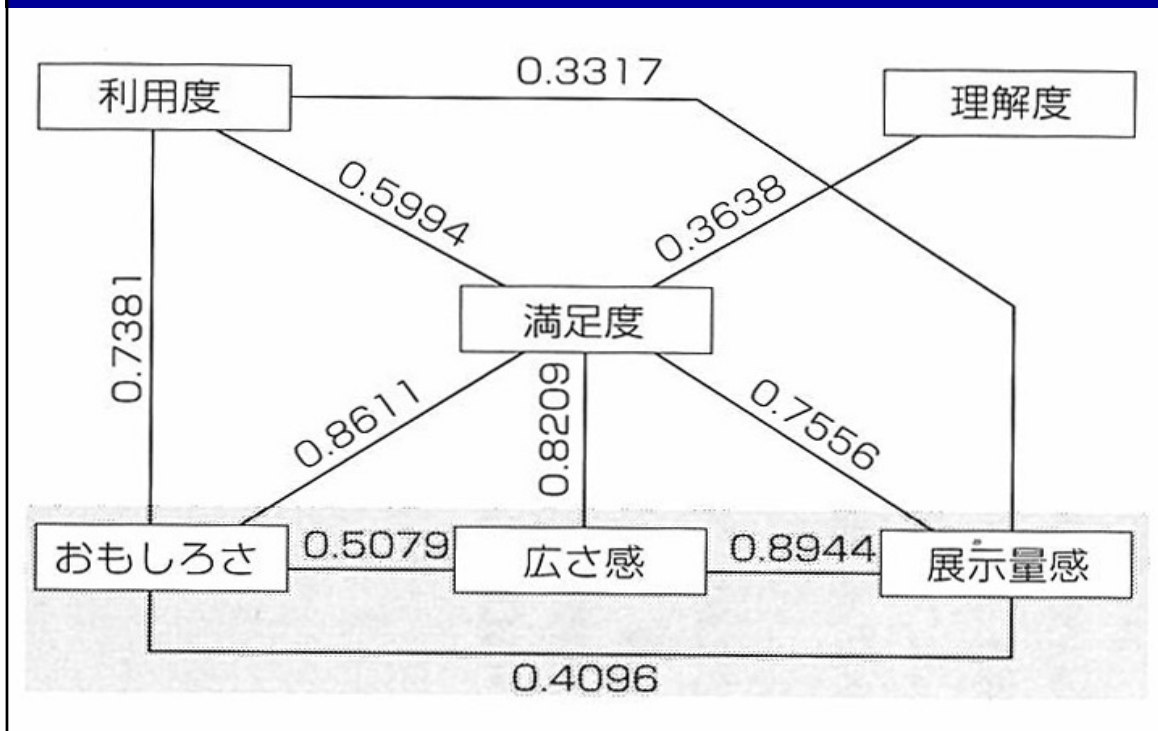
## 発信を生む3つのX



explorer／探索, exchange／共有, express／表現の場の要素が必要です。全体が探索でき、情報を共有できる要素が回遊動線・循環に埋め込みまれることが重要です。

# ①高満足度

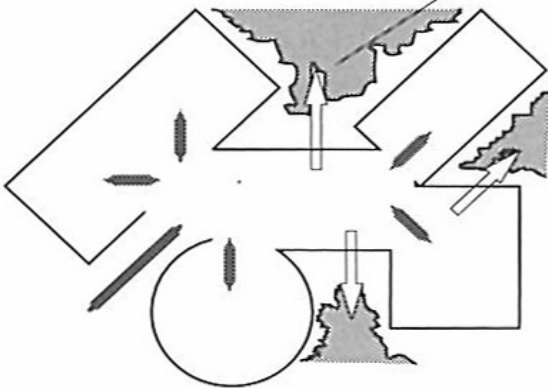
## 満足度要因関係図



## 満足度の高い展示室

### ②満足度の高い展示室

外部とのつながり

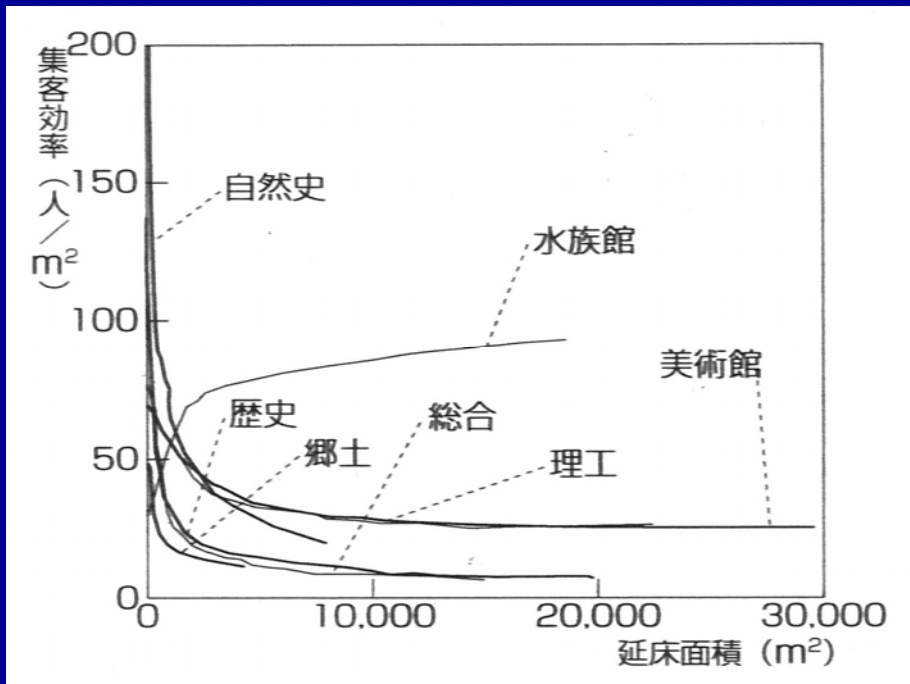


|              |                      |
|--------------|----------------------|
| 平面グリッドの形     | 非直交型                 |
| コーナー構成       | 中央ホール型               |
| 外部とのつながり     | あり                   |
| 壁面間移動率       | 30%以下                |
| 壁面長当たりのコーナー数 | 0.03以上               |
| =コーナー当たり壁面長  | 33m以下                |
| 壁面長当たり展示面積   | 3.4m <sup>2</sup> 以下 |
| =展示面積当たり壁面長  | 0.29m以上              |
| コーナー数        | 5~10                 |
| 作品数          | 70~140点              |
| 壁面長当たり作品数    | 0.5未満<br>または1以上      |

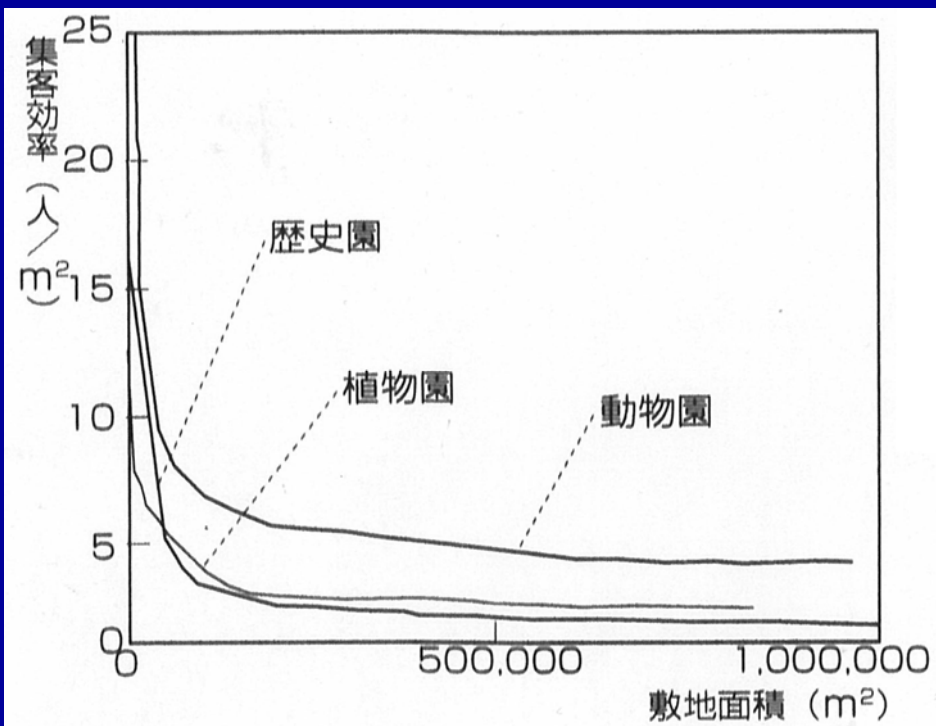
## ②集客力



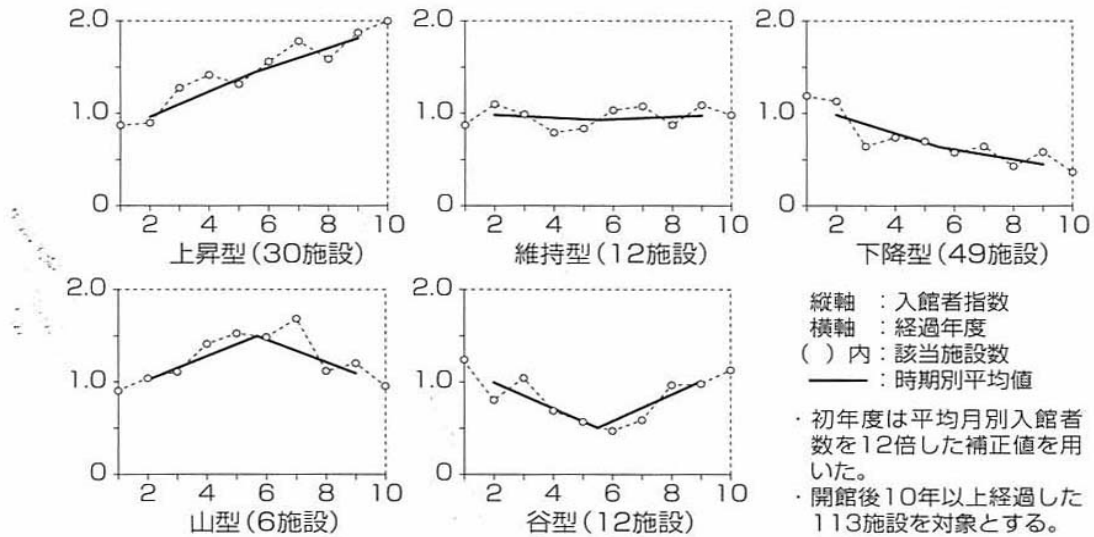
## 各種博物館の延床面積と集客効率



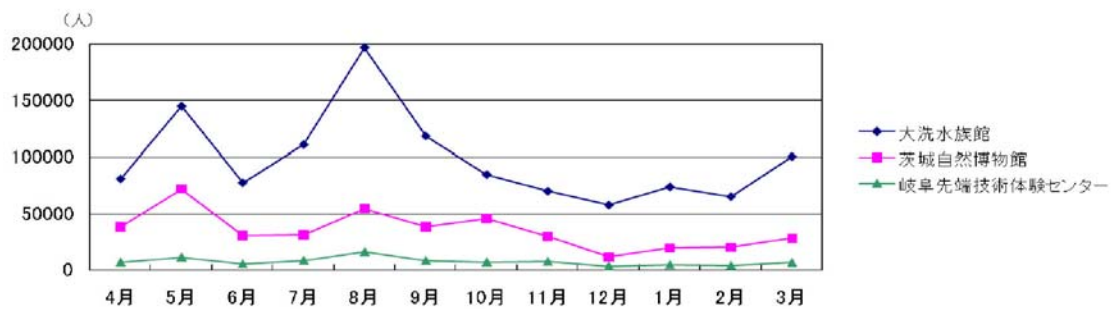
## 各種園型博物館の敷地面積と集客効率



## 経年変化パターン分類と事例



## 博物館の利用者数月別変化



### ③接遇性（もてなし性）

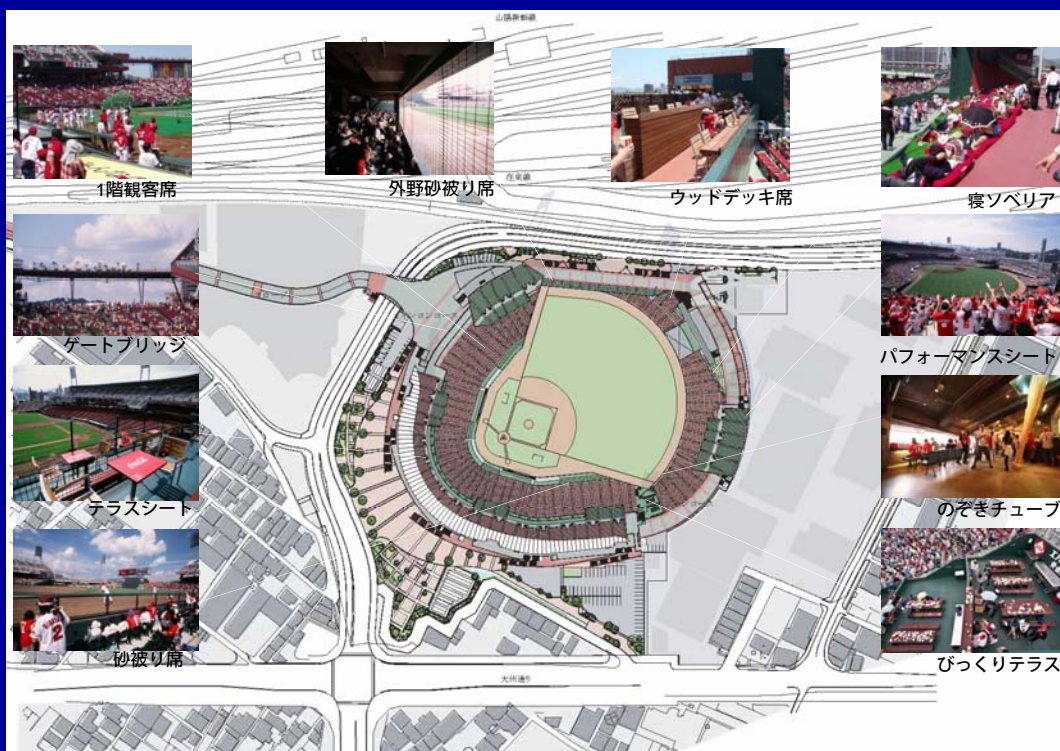
### 石毛の住まいの機能図

| 社会 \ 行動 | 睡眠・休息 | 排泄 | 入浴・行水 | 化粧・着衣 | 性交 | 育児・教育 | 洗濯 | 炊事 | 食事 | 家財管理 | 生業 | 接客 | 信仰 | 隔離 | 知的活動 | 娯楽 | 美的活動 | 隠退 |
|---------|-------|----|-------|-------|----|-------|----|----|----|------|----|----|----|----|------|----|------|----|
| 日本某家    | ●     | ●  | ●     | ●     | ●  | ●     | ●  | ●  | ●  | ●    |    | ●  | ●  | ●  | ●    | ●  | ●    | ●  |
| トンガ     | ●     | ●  | ●     |       | ●  | ●     | ●  | ●  | ●  | ●    |    | ●  |    | ●  |      |    |      |    |
| 西部ダニ族   | ●     |    |       |       |    | ●     |    | ●  | ●  | ●    |    | ●  |    | ●  |      |    |      |    |
| モニ族     | ●     |    |       |       |    | ●     |    | ●  | ●  | ●    |    | ●  |    | ●  |      |    |      |    |
| メガルハ族   | ●     |    |       |       | ●  | ●     |    | ●  | ●  | ●    |    | ●  | ○  | ●  |      |    |      |    |
| スワヒリ    | ●     | ●  | ●     |       | ●  | ●     |    | ●  | ●  | ●    |    | ●  | ○  | ●  |      |    |      |    |
| イラク族    | ●     |    |       |       | ●  | ●     |    | ●  | ●  | ●    | ○  | ●  |    | ●  |      |    |      |    |
| ダトーガ族   | ●     |    |       |       | ●  | ●     |    | ●  | ●  | ●    | ○  | ●  |    | ●  |      |    |      |    |
| ハツァビ族   | ●     |    |       |       | ●  | ●     |    | ●  | ●  | ●    |    | ●  |    | ●  |      |    |      |    |

●主として住居内空間でなされる行動 ○住居内空間で行動の一部がなされる

## ④多様性 にぎわいと落ちつき

### 多様な客席



## ⑤観光性

自然 歴史 聖地 文化 都市

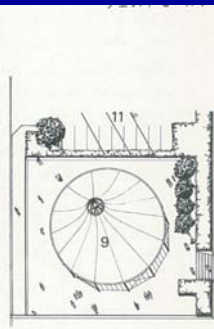
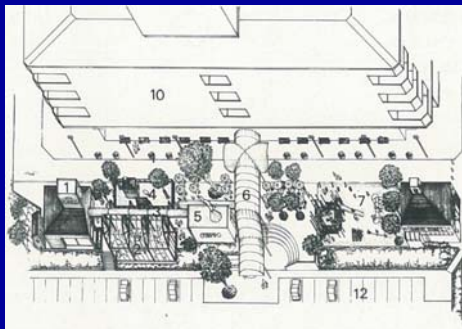
### 観光と都市環境デザインの方向

- (1) 21世紀型観光としてのエコツーリズム
- (2) 復活のストーリー
- (3) 資源共有化と共同化
- (4) グレートスポットとグレートストーリー

⑥回遊性

4. 遊環構造の展開

## 西武春日井ショッピングセンター(1977)



## 浜松科学館(1985)



東京辰巳国際水泳場(1994)

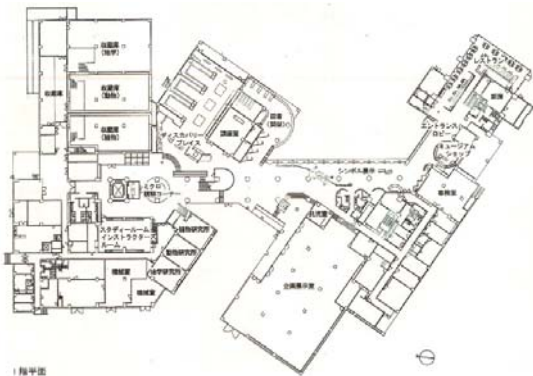


ミュージアムパーク茨城県自然博物館 (1994)



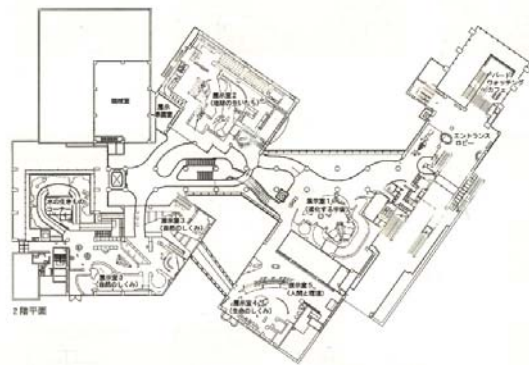


## ミュージアムパーク茨城県自然博物館 (1994)



1階平面図

1F平面図

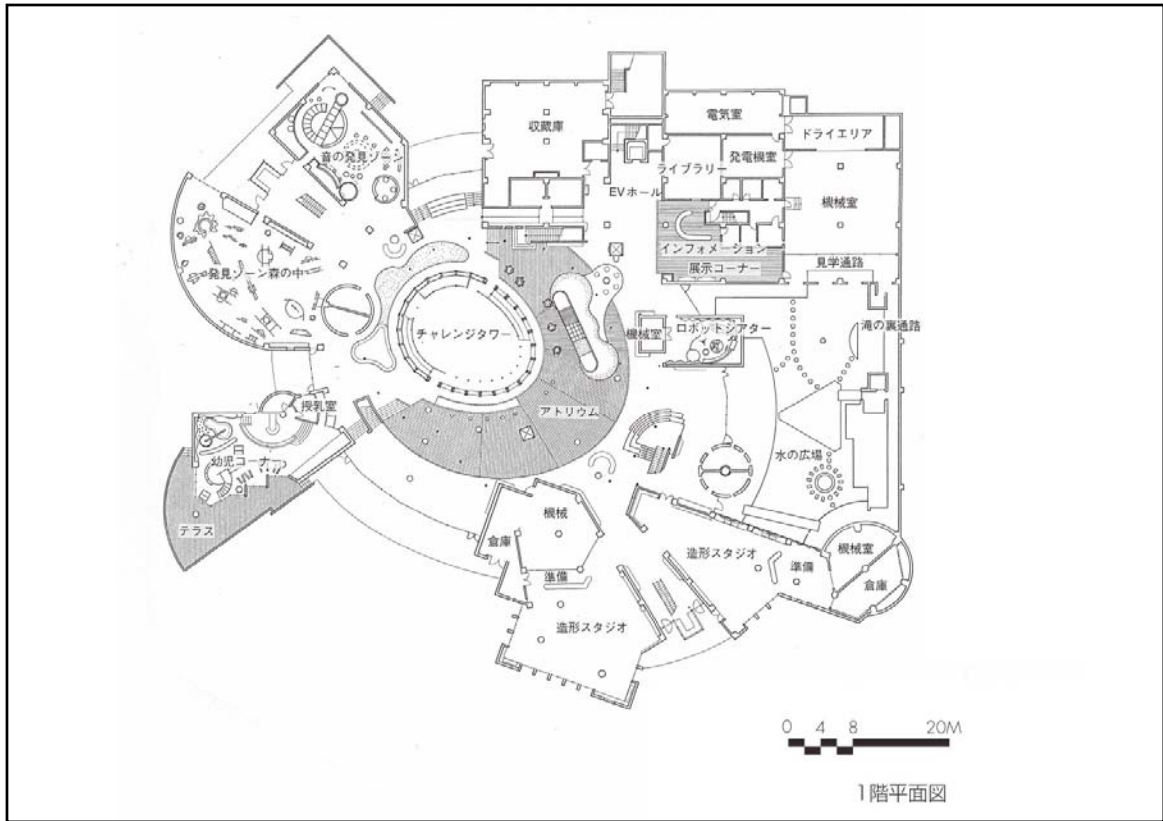


2階平面図

2F平面図

## 愛知県児童総合センター (1996)





兵庫県立但馬ドーム(1998)



大洗水族館 (2001)



上海旗忠森林体育城テニスセンター(2005)



国立成育医療センター(2001)



## 国立成育医療センター(2001)



## ふじえだファミリークリニック(2003)



よつば循環器科クリニック(2005)



愛和病院ANNEX「赤ちゃんワールド館」(2006)



やすらぎの杜(2004)



名古屋文化幼稚園(2012)



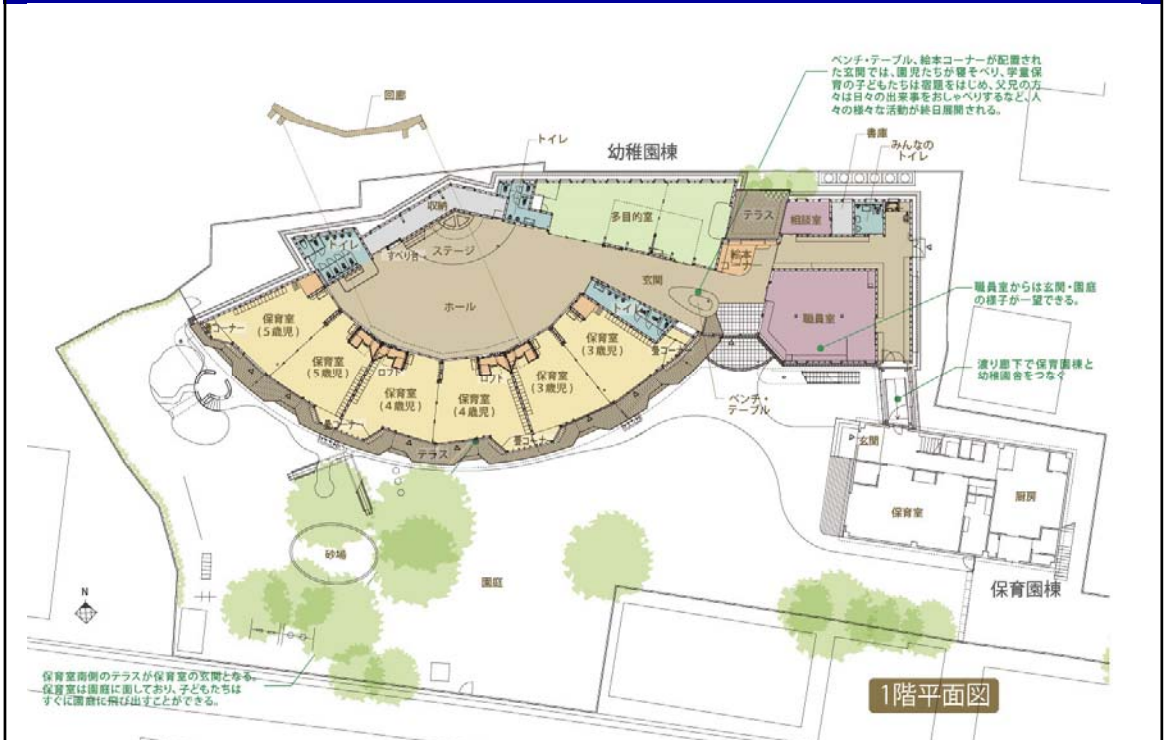




# ちぐさ幼稚園(2015)



# ちぐさ幼稚園(2015)



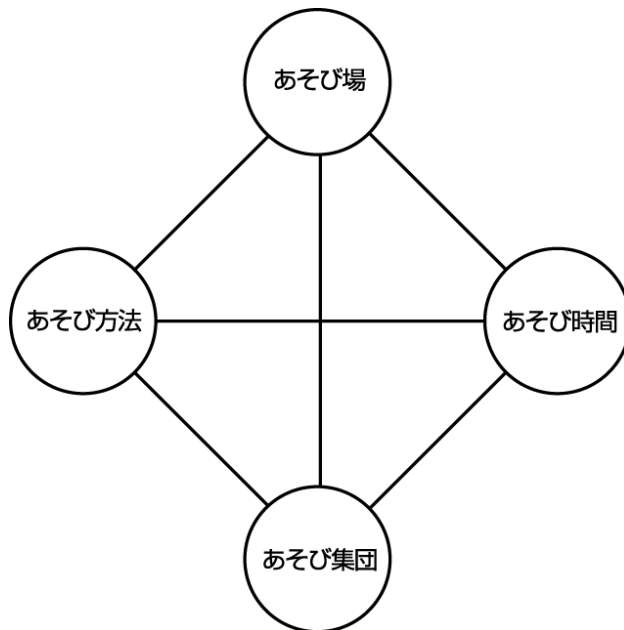
# おおぞら病院(2015)



## 5. こどもが未来をつくる

こどものあそび環境の視点

## あそび環境の4要素



## あそびの条件

**自由であること**

To be free

**楽しいこと**

To be enjoyable

**無償であること**

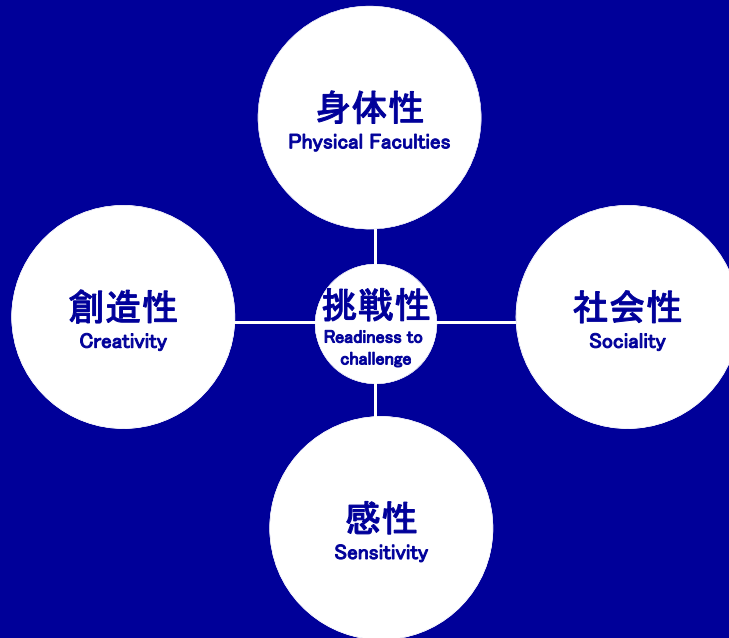
To be free of charge

**繰り返されること**

To be repetitive

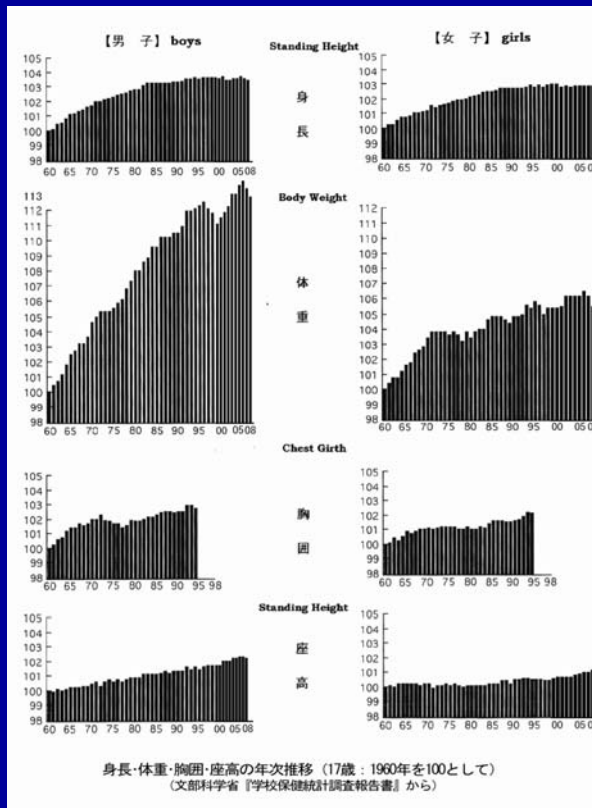
|    | あそびと対立したイメージ | あそびのイメージ | 評価 |
|----|--------------|----------|----|
| 時間 | 労働<br>学習     | 余暇       | △  |
| 行動 | まじめ          | 不まじめ     | ×  |
| 精度 | 非柔軟性         | 柔軟性      | ○  |
| 認識 | 現実           | 非現実      | ×  |

## あそびで開発する能力

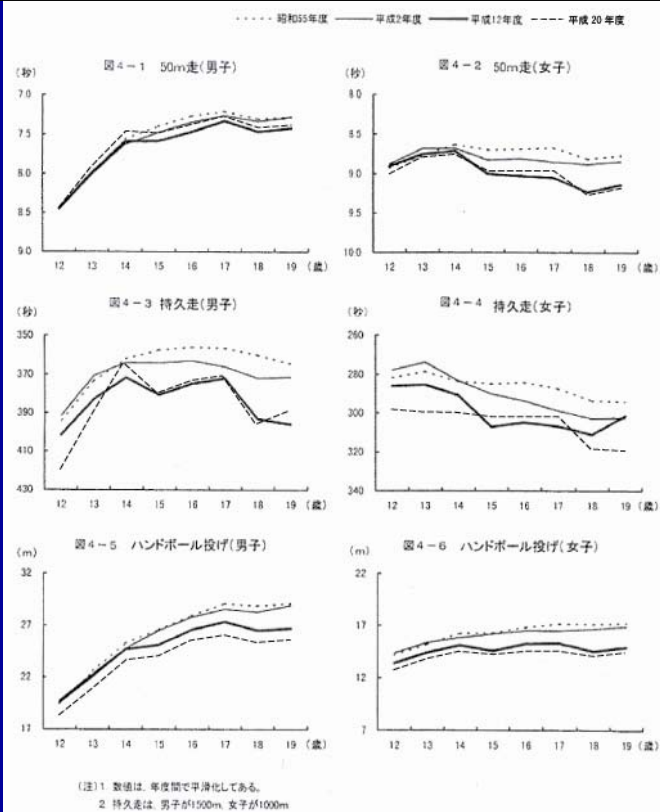


こどもの劣化

# 体格

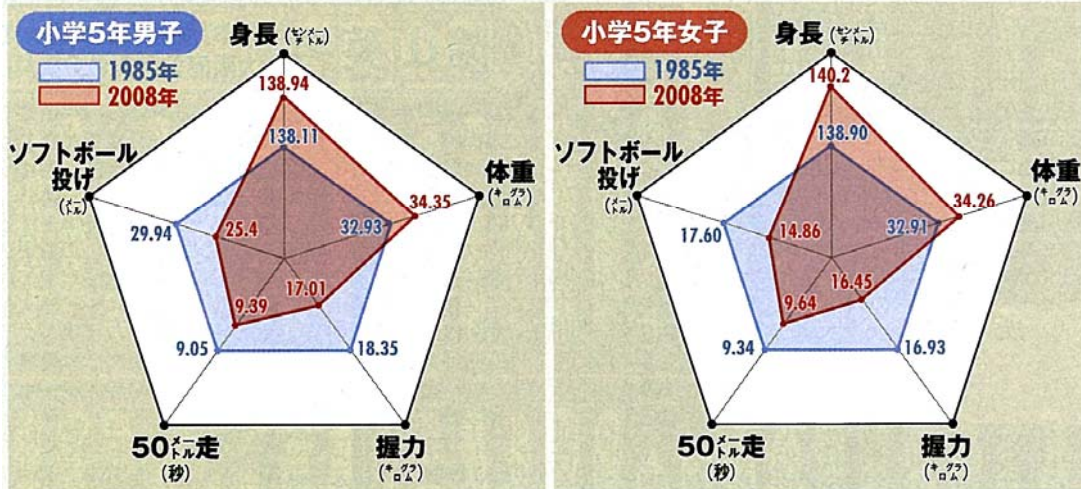


# 体力の変化



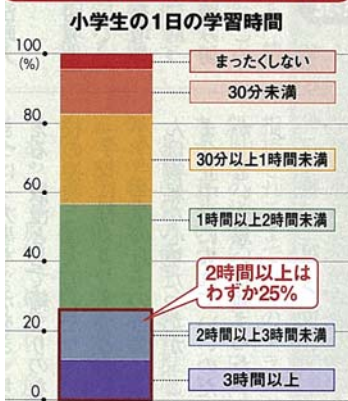
# 体格はよくても運動能力は低下

小学生の体力・運動能力の実態 Motor Fitness of Primary School Children



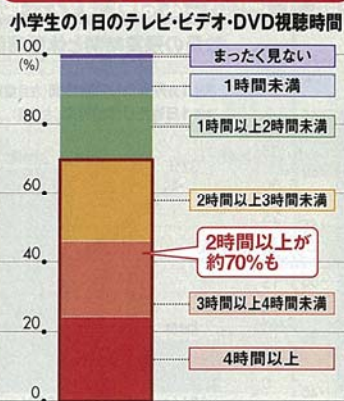
出所:文部科学省「平成20年度体力・運動能力調査」

## 学習時間2時間以上は25%にとどまる



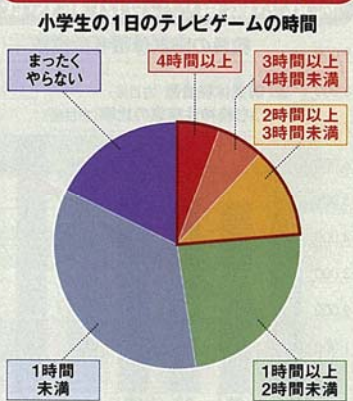
出所:国立教育政策研究所「平成20年度全国学力・学習状況調査」

## 視聴時間2時間以上は7割近い



出所:国立教育政策研究所「平成20年度全国学力・学習状況調査」

## 4人に1人が1日2時間以上ゲームをしている

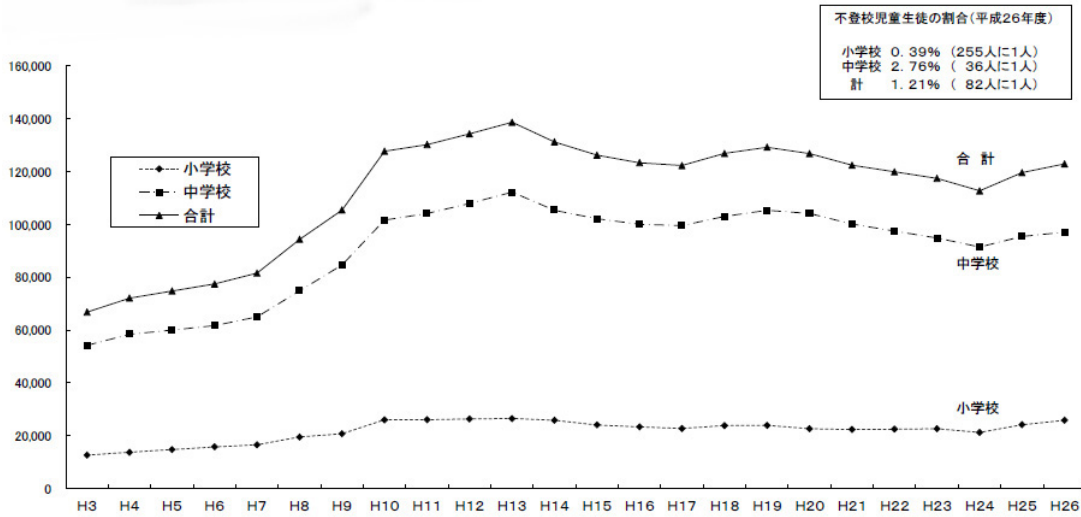


出所:国立教育政策研究所「平成20年度全国学力・学習状況調査」

出所:国立教育政策研究所「平成20年度全国学力・学習状況調査」

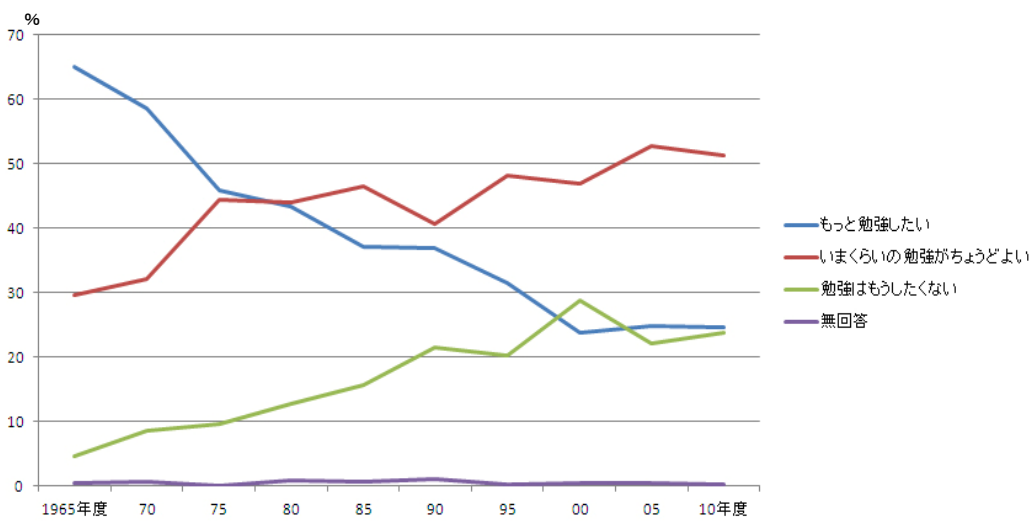
# 不登校

不登校児童生徒数の推移



文部科学省「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」平成26年度より

# やる気

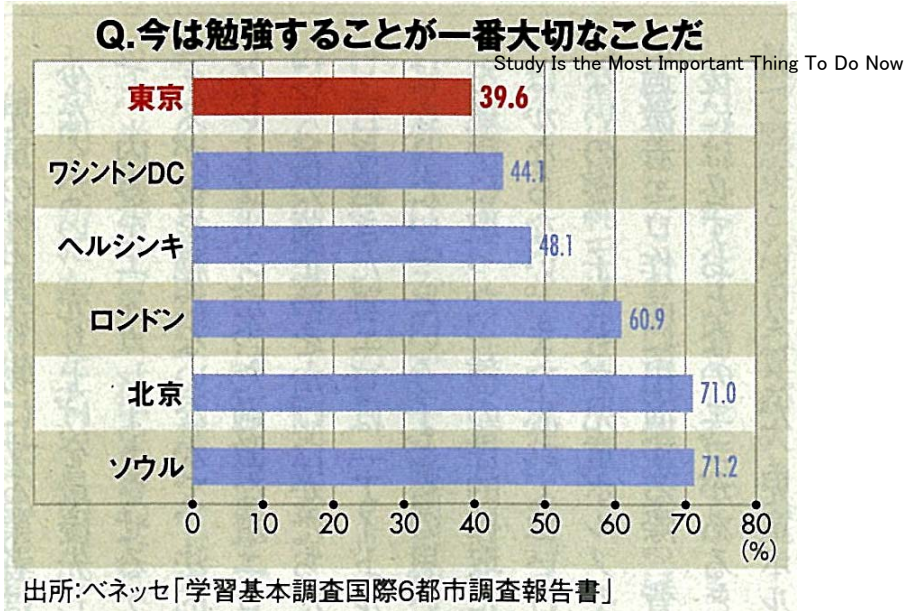


藤沢市(1965~2010年度)学習意識調査の結果から見る中3生徒の学習意識より



## 他の都市より東京の小学生は学習意欲が低い

Aspiration of Primary School Children for Study Is Low in Tokyo



## OECD加盟25カ国における 15歳の孤独度調査

'I feel Lonely' in a Survey of  
Twenty-Five OECD Countries

フランス 6.4%

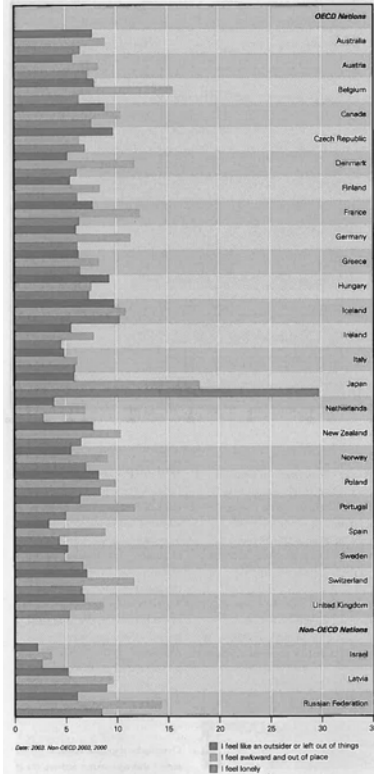
アイスランド 10.3%

日本 29.8%

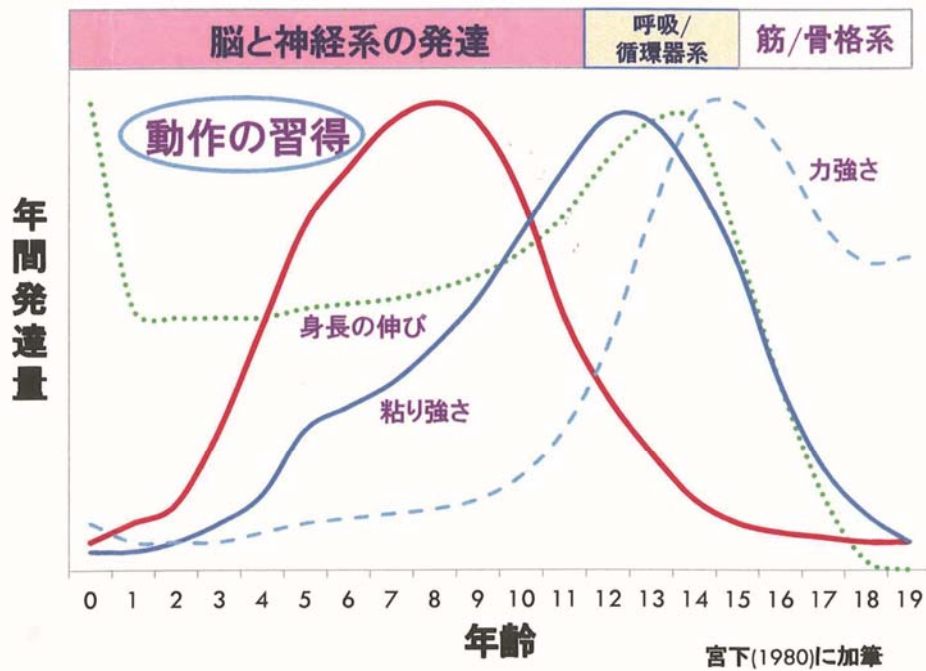
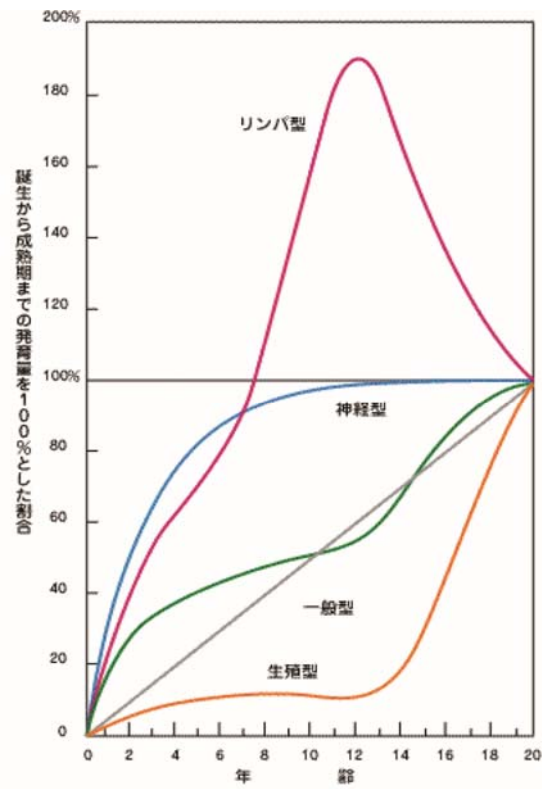
経済開発協力機構 (OECD) 加盟25カ国を対象に行われた15歳の意識調査において、日本の子どもが29.8%と最も多く「孤独を感じる」と答えた。以下、アイスランド(10.3%)、フランス(6.4%)、イギリス(5.4%)などが続いているが、日本は突出している。

The most striking individual result from a survey of twenty-five OECD countries is that the 29.8% of young people aged 15 to 19 in Japan who agreed with the statement 'I feel lonely,' almost three times higher than the next highest-scoring country, Iceland (10.3%). France is 6.4% and United Kingdom is 5.4%.

Figure 6.3b Percentage of 15 year-olds agreeing with specific negative statements about personal well-being



# スキヤモンの 発育曲線



## 脳の発達における感受性期 (Sensitive period)

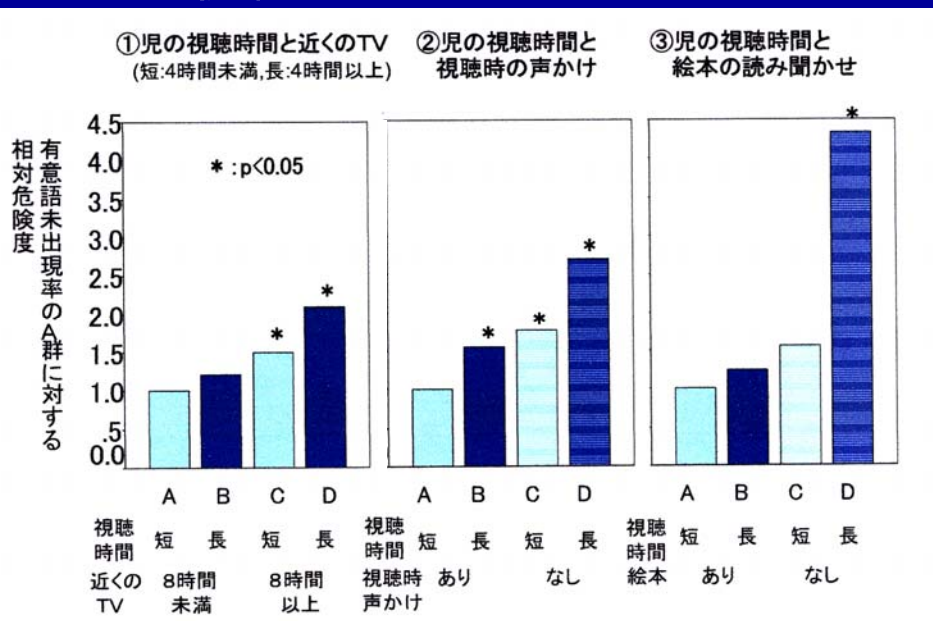
幼若期(発達期)のある期間、脳があらゆる意味で変化しやすく、**環境や教育の仕方が脳の発達に大きな影響**を与えるその期間のことを言う。人間でいえば、おおよそ3歳~10歳位か? その時期を過ぎると、その能力を獲得したり、発達させたりすることが容易ではなくなるが、不可能になるわけではない。感受性期が終わるのは、**GABAを神経伝達物資とする抑制性の神経回路の機能の完成**によってであるとされている(ヘンシュ貴雄2005)。

三つ子の魂、百まで。

鉄は熱いうちに叩け!

すすめ、百まで踊り忘れず

## テレビ視聴の時間とコミュニケーション

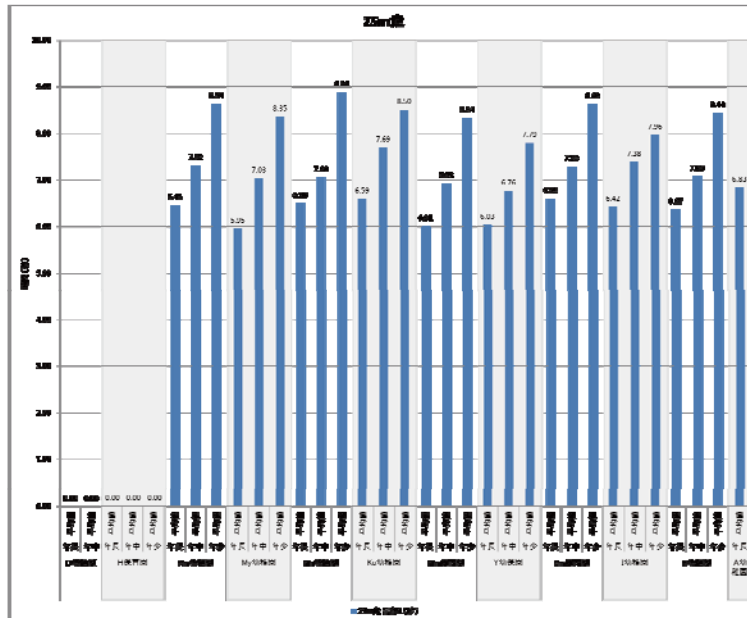


谷村雅子ほか: 日本小児科学会雑誌、108:709-711, 2004

乳幼児へのテレビ視聴の影響

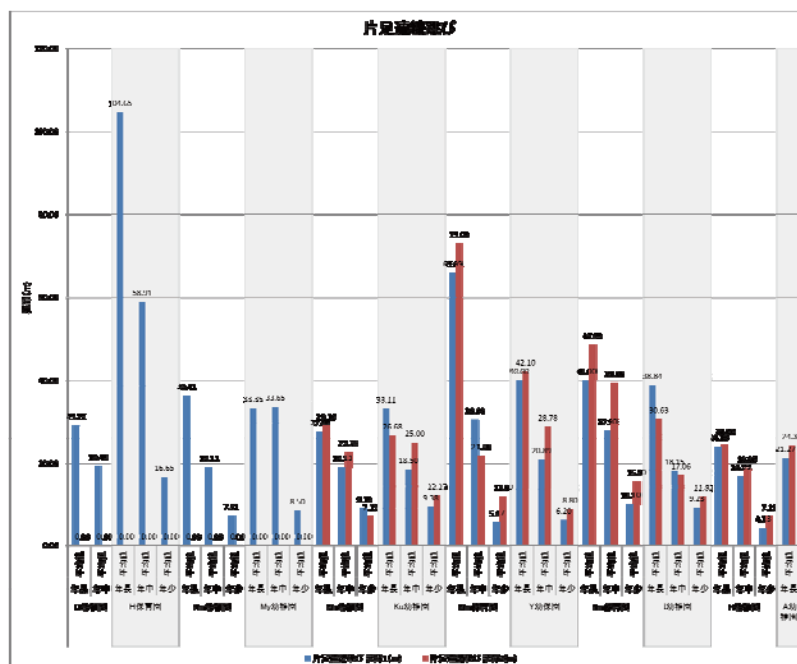
テレビの長時間視聴は1歳6ヶ月時点における意味のある言葉(有意語)の出現の遅れと関係があること、特に日常やテレビ視聴時に親子の会話が少ない家庭の長時間視聴児で有意語出現が遅れる率が高いことが示唆された。

## 園別・学年別の運動測定 調査結果



25m走では、園の環境と測定数値にあまり関係性は見られない。

## 園別・学年別の運動測定 調査結果



Japanese Educational Environment Far below International Standard

国際標準を大きく下回る日本の教育環境

| GDPに対する学校教育費の比率 |          |          | 一般政府総支出に対する公財政支出学校教育費の比率 |          |                   | 教員1人当たりの児童数 |          |                | 1学級当たりの児童数 |          |               |
|-----------------|----------|----------|--------------------------|----------|-------------------|-------------|----------|----------------|------------|----------|---------------|
| 順位              | 国名       | GDP比 (%) | 順位                       | 国名       | 一般政府総支出に対する比率 (%) | 順位          | 国名       | 教員1人当たり児童数 (人) | 順位         | 国名       | 1学級当たり児童数 (人) |
| 1               | アイスランド   | 5.4      | 1                        | メキシコ     | 16.2              | 1           | ハンガリー    | 10.4           | 1          | ルクセンブルグ  | 15.8          |
| 2               | ニュージーランド | 4.7      | 2                        | ニュージーランド | 13.5              | 2           | ギリシャ     | 10.6           | 2          | アイスランド   | 18.2          |
| 3               | 英国       | 4.6      | 3                        | スロバキア    | 12.9              | 2           | ポルトガル    | 10.6           | 3          | イタリア     | 18.4          |
| 4               | デンマーク    | 4.5      | 4                        | アイスランド   | 12.3              | 4           | イタリア     | 10.7           | 4          | ギリシャ     | 18.9          |
| 5               | スイス      | 4.4      | 5                        | 韓国       | 11.8              | 5           | ノルウェー    | 10.9           | 5          | ポルトガル    | 19.0          |
| 5               | メキシコ     | 4.4      | 6                        | アイルランド   | 10.7              | 6           | ルクセンブルグ  | 11.3           | 6          | スイス      | 19.4          |
| 7               | 韓国       | 4.3      | 7                        | 米国       | 9.4               | 7           | ポーランド    | 11.5           | 7          | デンマーク    | 19.5          |
| 8               | スウェーデン   | 4.2      | 8                        | デンマーク    | 9.3               | 8           | スウェーデン   | 12.1           | 8          | オーストリア   | 19.7          |
| 9               | オーストラリア  | 4.1      | 9                        | ルクセンブルグ  | 9.1               | 9           | ベルギー     | 12.6           | 8          | スロバキア    | 19.7          |
| 9               | ベルギー     | 4.1      | 10                       | スイス      | 8.7               | 10          | オーストリア   | 13.9           | 10         | メキシコ     | 19.8          |
| 11              | フランス     | 4.0      | 11                       | 英国       | 8.6               | 11          | スペイン     | 14.2           | 11         | ハンガリー    | 20.0          |
| 12              | フィンランド   | 3.9      | 11                       | ポーランド    | 8.6               | 12          | 米国       | 14.6           | 12         | ポーランド    | 20.1          |
| 13              | 米国       | 3.8      | 13                       | カナダ      | 8.2               | 13          | フィンランド   | 15.0           | 13         | チェコ      | 20.2          |
| 13              | ポルトガル    | 3.8      | 13                       | スウェーデン   | 8.2               | 14          | スイス      | 15.1           | 14         | スペイン     | 20.7          |
| 15              | オーストリア   | 3.7      | 13                       | ポルトガル    | 8.2               | 15          | オランダ     | 15.3           | 15         | ドイツ      | 22.1          |
| 15              | ポーランド    | 3.7      | 16                       | ベルギー     | 8.0               | 16          | オーストラリア  | 16.0           | 16         | オランダ     | 22.4          |
| 17              | カナダ      | 3.6      | 17                       | フィンランド   | 7.8               | 17          | チェコ      | 17.3           | 17         | フランス     | 22.5          |
| 18              | アイルランド   | 3.4      | 18                       | オランダ     | 7.7               | 18          | ニュージーランド | 17.7           | 18         | 米国       | 23.1          |
| 18              | オランダ     | 3.4      | 19                       | スペイン     | 7.2               | 19          | スロバキア    | 18.6           | 19         | オーストラリア  | 23.9          |
| 18              | ドイツ      | 3.4      | 20                       | オーストリア   | 7.1               | 20          | ドイツ      | 18.7           | 20         | 英国       | 24.5          |
| 18              | ハンガリー    | 3.4      | 20                       | フランス     | 7.1               | 21          | 日本       | 19.2           | 21         | トルコ      | 27.2          |
| 22              | イタリア     | 3.3      | 22                       | 日本       | 7.0               | 22          | フランス     | 19.3           | 22         | 日本       | 28.3          |
| 23              | チェコ      | 3.0      | 23                       | ハンガリー    | 6.9               | 23          | アイルランド   | 19.4           | 23         | 韓国       | 31.6          |
| 24              | スペイン     | 2.9      | 24                       | イタリア     | 6.7               | 24          | 英国       | 19.8           | 23         | OECD各国平均 | 21.5          |
| 24              | スロバキア    | 2.9      | 25                       | チェコ      | 6.5               | 25          | 韓国       | 26.7           |            |          |               |
| 24              | 日本       | 2.9      | 26                       | ドイツ      | 6.2               | 25          | トルコ      | 26.7           |            |          |               |
| 27              | ギリシャ     | 2.7      |                          |          |                   | 27          | メキシコ     | 28.0           |            |          |               |
|                 | OECD各国平均 | 3.8      |                          | OECD各国平均 | 9.0               |             | OECD各国平均 | 16.2           |            |          |               |

出所:OECD「図表でみる教育2008年版」。GDP比、一般政府総支出比は2005年の初等・中等教育の数値、教員1人当たり、1学級当たり児童数は06年の初等教育の数値

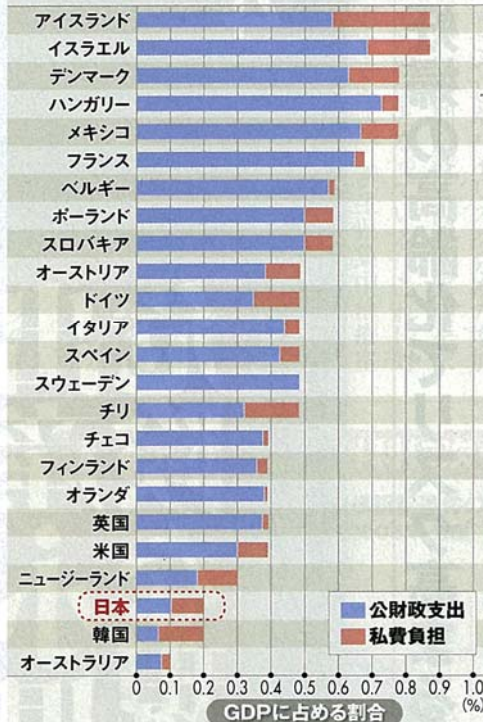
The Ratio of School Education Expenditure to GDP      The Ratio of Public Expenditure on School Education to Gross Government Expenditure in the General Account      The Number of Children per Teacher      The Number of Children per Class

日本は異常に低い

Extraordinary Low Level of Japanese Spending

就学前教育に対する教育支出の国際比較

International Comparison of Educational Expenditure for Preschool Children

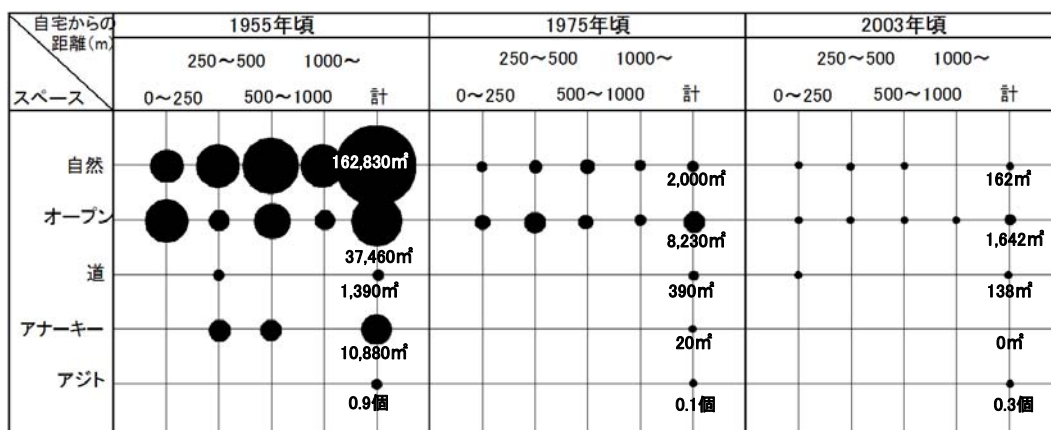


\* 就学前教育の対象は3歳児以上、幼児教育・保育を含む  
\* 「OECD図表で見る教育」(2006年)を基に経済産業省作成

# あそび環境の変化

## 横浜におけるあそび空間量の比較

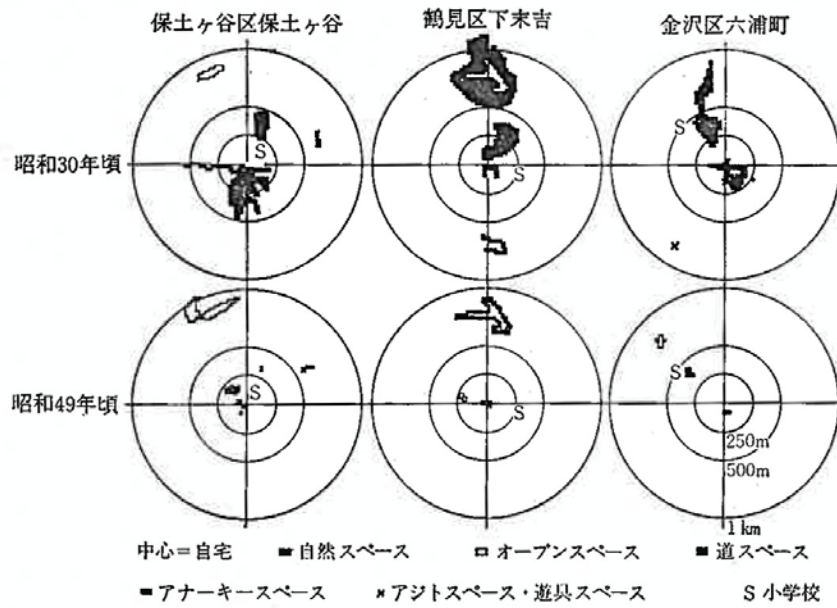
Change in Play Spaces in Yokohama



1955年から1975年頃までに大都市では  
あそび空間は1/20に減少しました

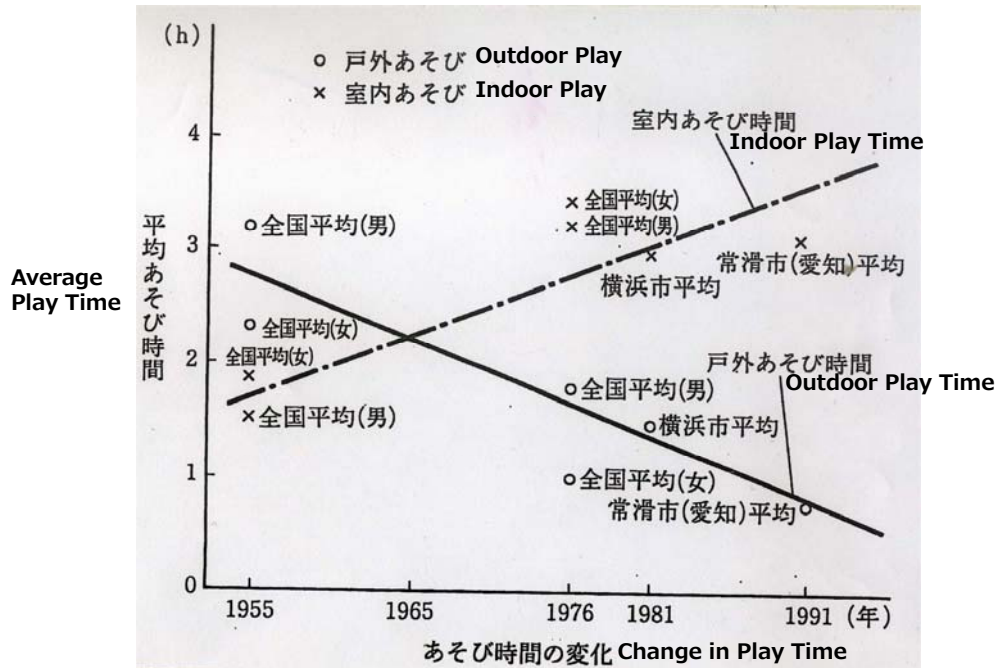
The amount of play spaces in major cities had reduced to one-twentieth from 1955 to 1975.

# あそび空間の連絡性 Connectivity of Play Spaces



# 外あそびから内あそびへの変化

Shift from Outdoor Play to Indoor Play



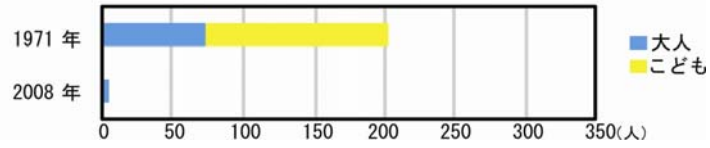




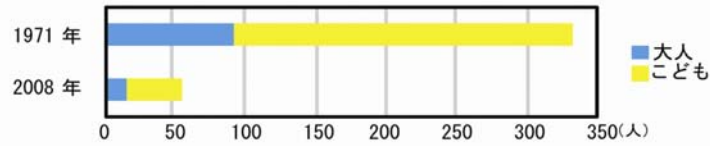


# 公園の利用実態調査

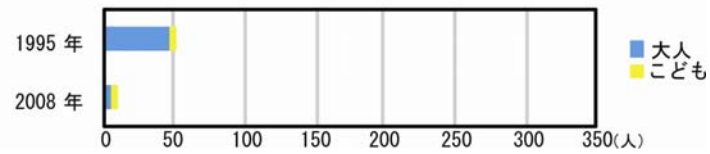
## ■勝田第2公園



## ■三春台公園



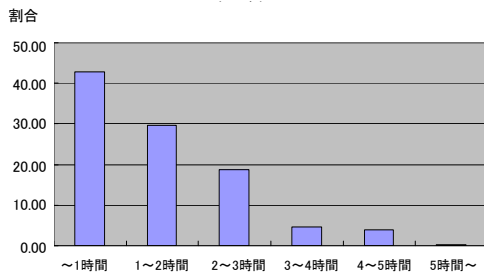
## ■霧が池公園



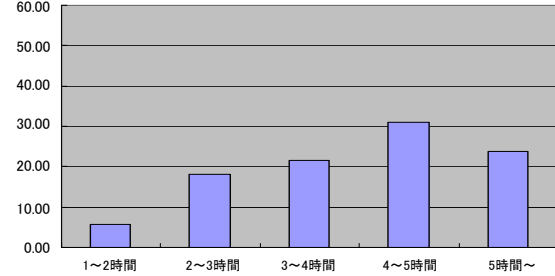
# あそび時間(一回)

2008年9月 国士館大学仙田研究室調査

## 街区公園

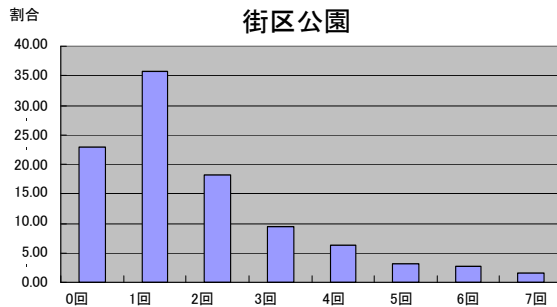


## プレーパーク全体

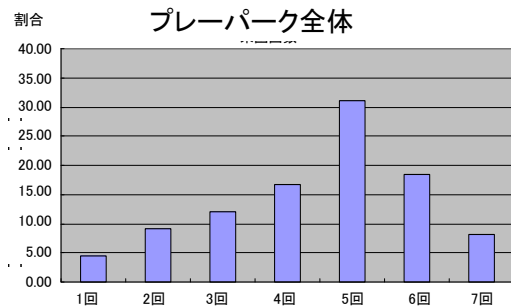


# 来園回数(一週間)

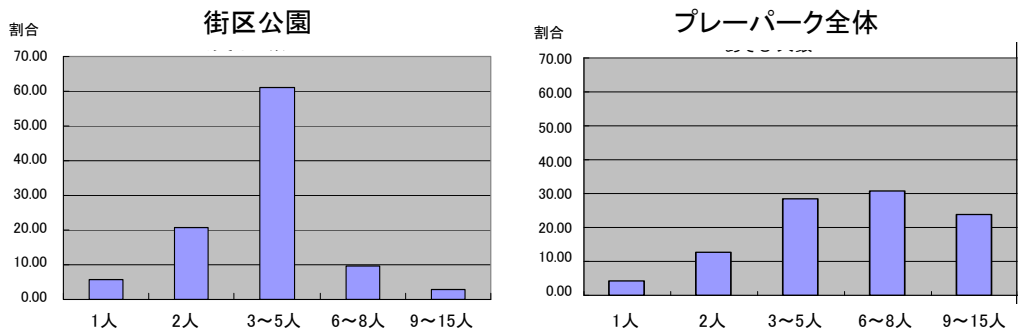
## 街区公園



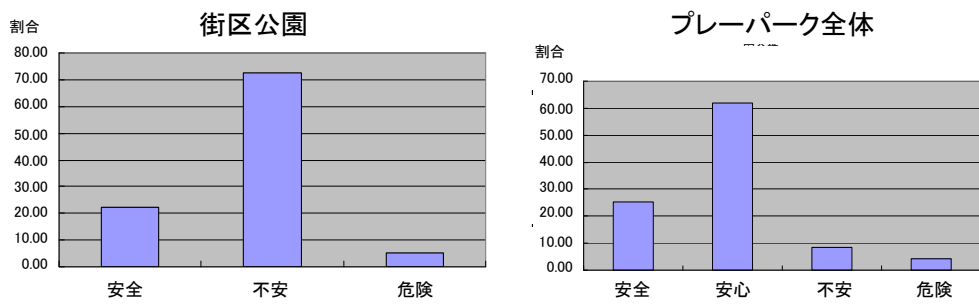
## プレーパーク全体



## あそび人数



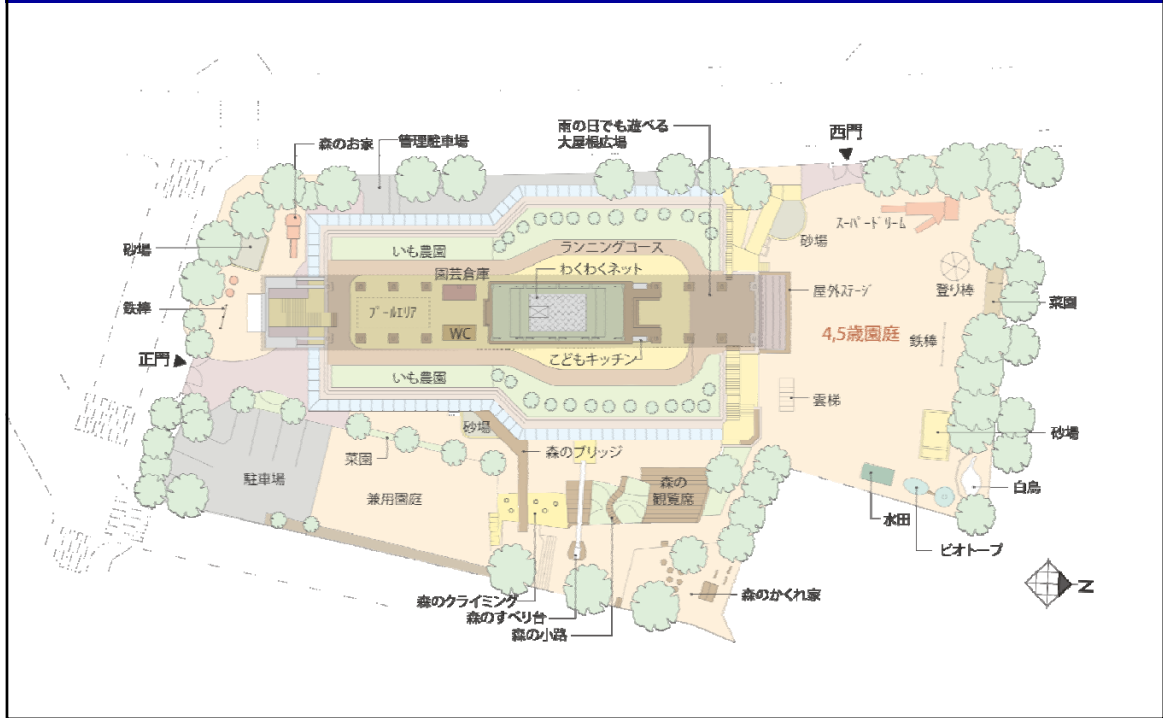
## 安全性



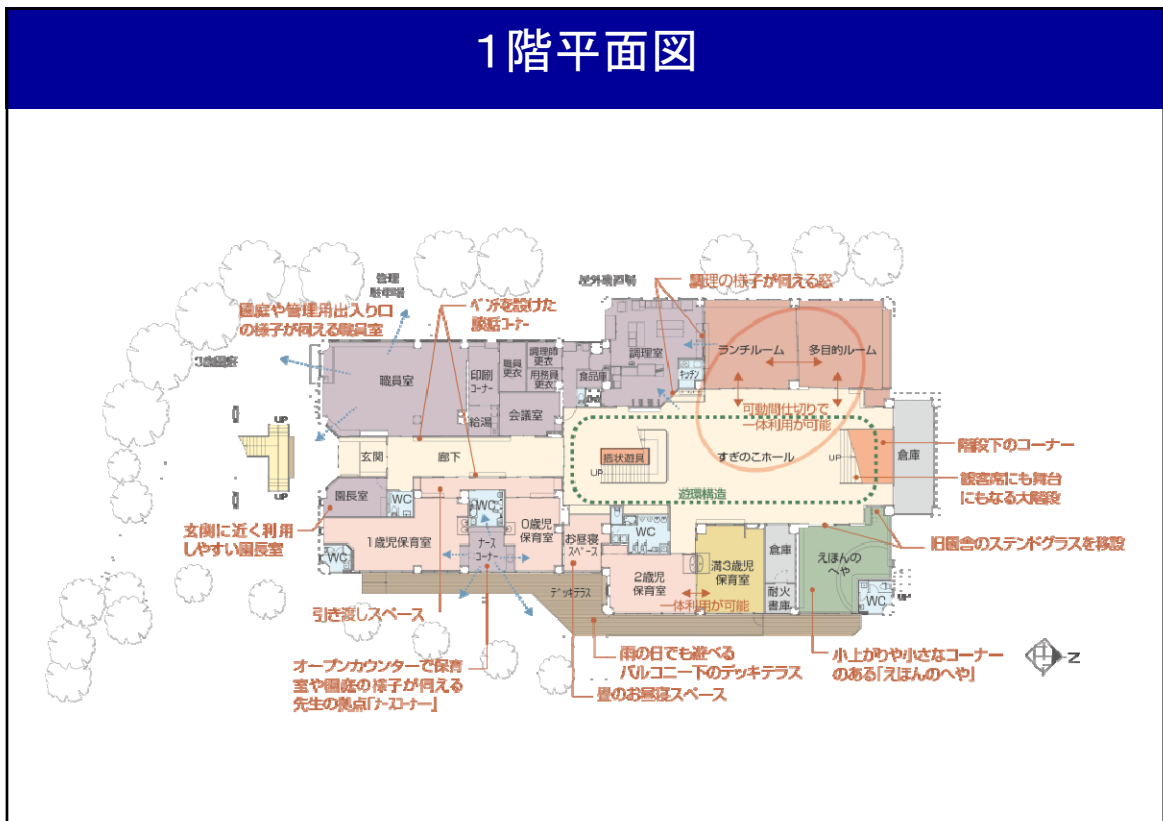
## 椋山女学園大学附属幼稚園 (2014)



# 配置図



# 1階平面図



## こどもにやさしい都市

### こども時代の逆境(ACE)の研究

- ・こども時代の逆境と成人してからのネガティブな結果の間には、非常に深い相関関係がある。
- ・ACEの数値が4以上(すなわち逆境の項目にあてはまった項目が4以上)ある人は、こども時代に逆境でなかった人に比べ、喫煙率は2倍、アルコール依存症は7倍、ガン等の疾病の割合は2倍。自殺は30倍、ドラッグは46倍。
- ・逆境によるストレスが体や脳にダメージを与える。

ポール・タフ

『成功する子、失敗する子 How Children Succeed Grit, Curiosity, and the Hidden Power of Character』より

ゆたかな園庭に育つ子ども達は、  
中枢神経の発達が促される。

## ノーベル経済学賞受賞 ジェームズ・ヘックマンの実験

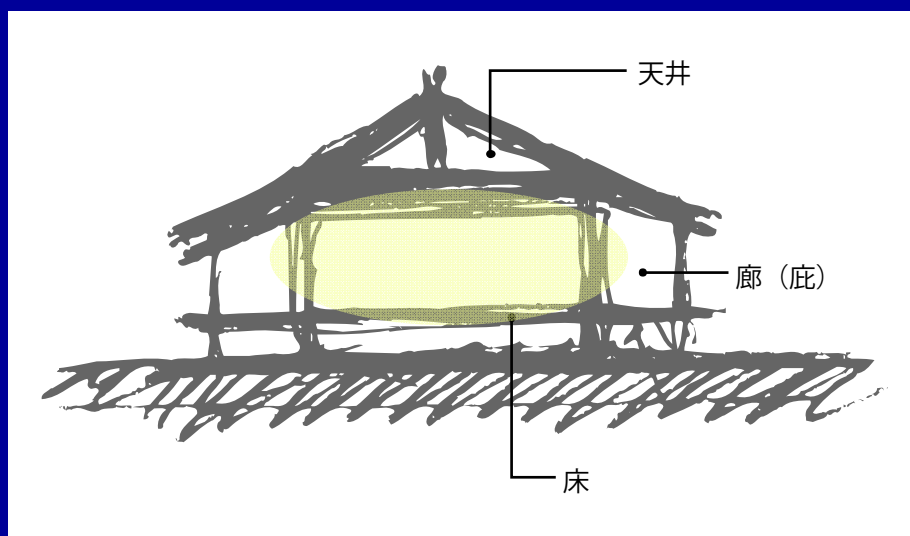
### 幼児教育の長期的な影響を調査

- ・低所得層のアフリカ系米国人の子ども123名(最初のIQスコアは、全員が75から85)を対象に行なわれた調査
- ・子どもたちが3歳のとき、実験群と対照群とに無作為に分け、前者には質の高い就学前教育を受けさせ、対照群には就学前教育を受けさせなかった。その後、被験者たちを数十年にわたって追跡。
- ・成人した被験者を比較した結果、就学前教育を受けた群は、受けなかった群に比べて、高卒資格を持つ人の割合が20%高く、5回以上の逮捕歴を持つ人の割合が19%低かった。離婚率も低く、生活保護等に頼る率も低かった。月収2000ドルを超える者の割合は実験群が対照群の4倍で、家を購入した者も実験群が3倍高かった。

→就学前の子どもへの投資が重要

自然豊かな環境と、愛情あふれる環境が  
こどもを困難に立ち向かわせる。

やわらかい二重の空間で開放的な空間  
重ね着建築



小さな子ども達の空間は、幾重にもある仕切りにより囲われている。  
外気に合わせ調節可能

# こどもにやさしいまち

## 子どものための建築・都市12ヶ条

Guidelines for the Creation of a Child-friendly Urban and Architectural Environment

1. The urban and architectural environment should be designed to be child-friendly and to support the growth and development of children. This includes providing safe and accessible spaces for play, recreation, and learning, as well as ensuring that the environment is clean, healthy, and sustainable.

2. The urban and architectural environment should be designed to be inclusive and to meet the needs of all children, regardless of their age, ability, or background. This includes providing accessible facilities and services, and ensuring that the environment is safe and secure for all children.

3. The urban and architectural environment should be designed to be participatory and to involve children in the decision-making process. This includes providing opportunities for children to express their views and opinions, and ensuring that their voices are heard and taken into account.

4. The urban and architectural environment should be designed to be resilient and to be able to adapt to changing circumstances. This includes providing flexible and adaptable spaces and facilities, and ensuring that the environment is able to withstand and recover from natural disasters and other crises.

5. The urban and architectural environment should be designed to be sustainable and to promote the well-being of the community. This includes providing green spaces and facilities, and ensuring that the environment is able to support the needs of future generations.

児童連帯、国際建築連帯、Architectural Institute of Japan  
For more information, please visit our website: [www.aiaj.or.jp](http://www.aiaj.or.jp)

Twelve-point charter for a child-friendly architectural and urban environment



子どもと家族のための建築・都市12ヶ条ガイドライン  
Architectural and Urban Environment

1. 安全で健康的な環境を創出する。子どもが安心して生活できるような安全で健康的な環境を創出する。これは、安全な遊び場、健康的な生活環境、そして持続可能な都市環境の創出を含む。

2. 誰もが利用できる環境を創出する。年齢、能力、背景に関わらず、すべての子どもが利用できる環境を創出する。これは、アクセシブルな施設とサービスを提供し、すべての子どもにとって安全で安心な環境を確保することを含む。

3. 子どもが参加できる環境を創出する。子どもが意思決定の過程に参加できるような環境を創出する。これは、子どもが意見を表明し、その意見が尊重され、考慮される機会を提供することを含む。

4. 柔軟で適応できる環境を創出する。変化する状況に適応できるような柔軟で適応できる環境を創出する。これは、柔軟で適応できる空間と施設を提供し、自然災害やその他の危機に耐え、回復できる環境を確保することを含む。

5. 持続可能な環境を創出する。コミュニティの福祉を促進する持続可能な環境を創出する。これは、緑豊かな空間と施設を提供し、将来世代のニーズをサポートできる環境を確保することを含む。

子どものための建築・都市12ヶ条 訳註

1. 安全で健康的な環境を創出する。子どもが安心して生活できるような安全で健康的な環境を創出する。これは、安全な遊び場、健康的な生活環境、そして持続可能な都市環境の創出を含む。

2. 誰もが利用できる環境を創出する。年齢、能力、背景に関わらず、すべての子どもが利用できる環境を創出する。これは、アクセシブルな施設とサービスを提供し、すべての子どもにとって安全で安心な環境を確保することを含む。

3. 子どもが参加できる環境を創出する。子どもが意思決定の過程に参加できるような環境を創出する。これは、子どもが意見を表明し、その意見が尊重され、考慮される機会を提供することを含む。

4. 柔軟で適応できる環境を創出する。変化する状況に適応できるような柔軟で適応できる環境を創出する。これは、柔軟で適応できる空間と施設を提供し、自然災害やその他の危機に耐え、回復できる環境を確保することを含む。

5. 持続可能な環境を創出する。コミュニティの福祉を促進する持続可能な環境を創出する。これは、緑豊かな空間と施設を提供し、将来世代のニーズをサポートできる環境を確保することを含む。

1. 安全で健康的な環境を創出する。子どもが安心して生活できるような安全で健康的な環境を創出する。これは、安全な遊び場、健康的な生活環境、そして持続可能な都市環境の創出を含む。

2. 誰もが利用できる環境を創出する。年齢、能力、背景に関わらず、すべての子どもが利用できる環境を創出する。これは、アクセシブルな施設とサービスを提供し、すべての子どもにとって安全で安心な環境を確保することを含む。

3. 子どもが参加できる環境を創出する。子どもが意思決定の過程に参加できるような環境を創出する。これは、子どもが意見を表明し、その意見が尊重され、考慮される機会を提供することを含む。

4. 柔軟で適応できる環境を創出する。変化する状況に適応できるような柔軟で適応できる環境を創出する。これは、柔軟で適応できる空間と施設を提供し、自然災害やその他の危機に耐え、回復できる環境を確保することを含む。

5. 持続可能な環境を創出する。コミュニティの福祉を促進する持続可能な環境を創出する。これは、緑豊かな空間と施設を提供し、将来世代のニーズをサポートできる環境を確保することを含む。

1. 安全で健康的な環境を創出する。子どもが安心して生活できるような安全で健康的な環境を創出する。これは、安全な遊び場、健康的な生活環境、そして持続可能な都市環境の創出を含む。

2. 誰もが利用できる環境を創出する。年齢、能力、背景に関わらず、すべての子どもが利用できる環境を創出する。これは、アクセシブルな施設とサービスを提供し、すべての子どもにとって安全で安心な環境を確保することを含む。

3. 子どもが参加できる環境を創出する。子どもが意思決定の過程に参加できるような環境を創出する。これは、子どもが意見を表明し、その意見が尊重され、考慮される機会を提供することを含む。

4. 柔軟で適応できる環境を創出する。変化する状況に適応できるような柔軟で適応できる環境を創出する。これは、柔軟で適応できる空間と施設を提供し、自然災害やその他の危機に耐え、回復できる環境を確保することを含む。

5. 持続可能な環境を創出する。コミュニティの福祉を促進する持続可能な環境を創出する。これは、緑豊かな空間と施設を提供し、将来世代のニーズをサポートできる環境を確保することを含む。

1. 安全で健康的な環境を創出する。子どもが安心して生活できるような安全で健康的な環境を創出する。これは、安全な遊び場、健康的な生活環境、そして持続可能な都市環境の創出を含む。

2. 誰もが利用できる環境を創出する。年齢、能力、背景に関わらず、すべての子どもが利用できる環境を創出する。これは、アクセシブルな施設とサービスを提供し、すべての子どもにとって安全で安心な環境を確保することを含む。

3. 子どもが参加できる環境を創出する。子どもが意思決定の過程に参加できるような環境を創出する。これは、子どもが意見を表明し、その意見が尊重され、考慮される機会を提供することを含む。

4. 柔軟で適応できる環境を創出する。変化する状況に適応できるような柔軟で適応できる環境を創出する。これは、柔軟で適応できる空間と施設を提供し、自然災害やその他の危機に耐え、回復できる環境を確保することを含む。

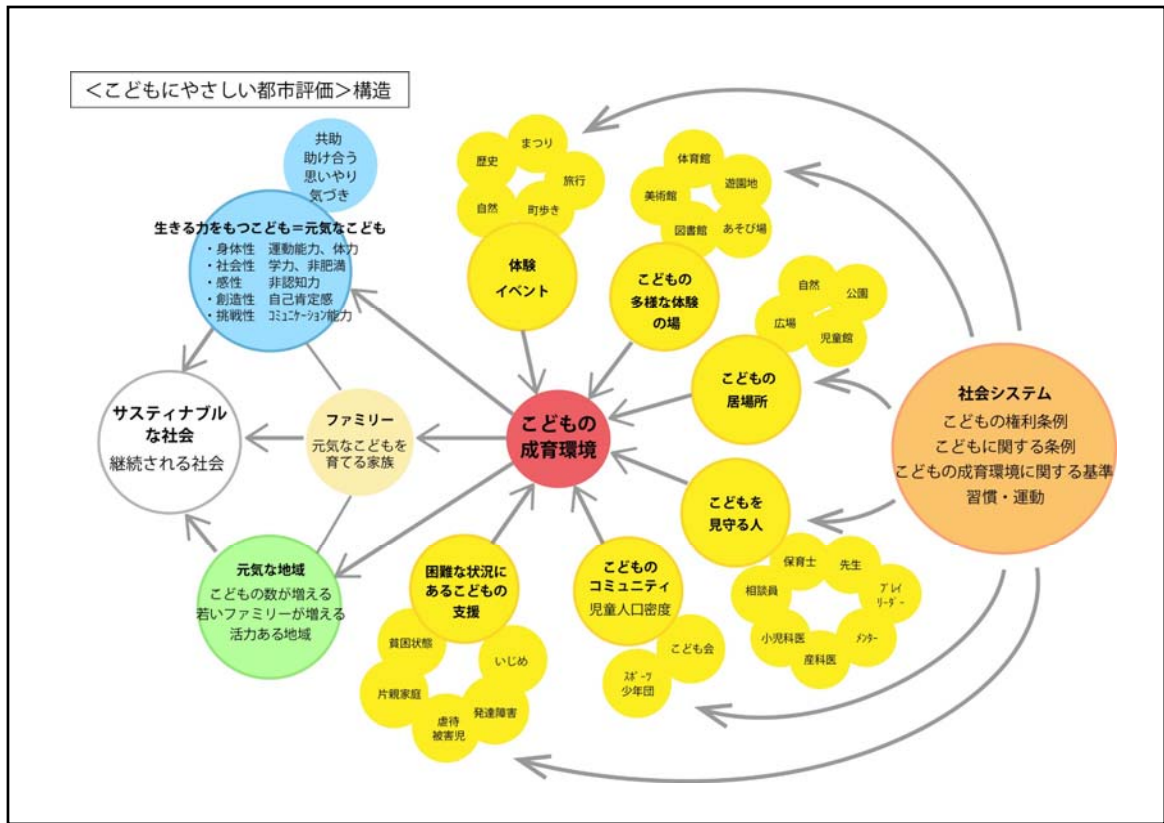
5. 持続可能な環境を創出する。コミュニティの福祉を促進する持続可能な環境を創出する。これは、緑豊かな空間と施設を提供し、将来世代のニーズをサポートできる環境を確保することを含む。



- 第1条 建築・都市は子どもがその成育期に本物の多様な体験を得る機会を保証する。  
(本物の多様な体験)
- 第2条 建築・都市は身近な自然から大自然まで、子どもの感性を刺激し、その行動を受けとめる自然環境を内包する。(自然とのふれあい)
- 第3条 建築・都市はあそびを通して健全に育つ子どものために、あそび空間を整備するだけでなく、生活圏内の多くの場を遊べるものとする。(豊かなあそび空間)
- 第4条 建築・都市は幼い頃から自らの意志で友を得、異年齢の仲間やささまざまな世代と交流する機会を提供する。(様々な交流)
- 第5条 建築・都市は子どもと家族のため、共に楽しく充実した時を過ごす空間を特に住宅、子どもの施設、公共的な施設において用意する。(子どもと家族のための空間)
- 第6条 建築・都市は事故や犯罪から子どもを守るよう計画・監理される。その時、過度な安全性が子どもを閉じこめることに留意すべきである。(安全)
- 第7条 建築・都市は子どもを環境汚染等から守り、子どもの健康で健全な生活を保障する。(健康で健全な生活)
- 第8条 建築・都市は子どもが孤立しないよう、住宅をはじめ子どもの育つ空間を屋外の刺激や交流性に富む大地に近接させて設ける。(接地)
- 第9条 建築・都市は子どもの生活行動の自由を保障するよう閉鎖的にならず、オープンなものとする。(開放)
- 第10条 建築・都市は子どもとその社会が作り出す文化を尊重し、その固有な地域文化を継承する。(子ども文化)
- 第11条 建築・都市は子どもに自らの環境をつくる機会を与え、地域・自然そして地球環境について子どもが学ぶ機会を提供する。(参画と環境学習)
- 第12条 建築・都市は親が子育てについて学び、安心して子育てに取り組める社会システムと空間を用意する。(子育て環境)

## 「こどもにやさしいまち評価」の3つの視点

- ① こどもたちが生活しやすいまち
- ② 子育てがしやすいまち
- ③ こどもやこどもをもつ家族を  
応援するまち



子どもが元気に遊び育つ環境の  
整備に関する条例

## こどもの環境のまとめ

今、日本のこどもたちの成育環境は危機的だ

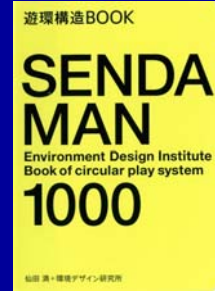
1. あそび環境は成育環境
2. あそびは身体性、社会性、感性、創造性を開発し、意欲、挑戦性を育む
3. あそび、学習、運動、交流、創造意欲は平行だ
4. あそびには空間だけでなく、人が必要
5. 自然あそび、自然体験の中でリスクを学ぶ
6. 脳科学的に、8歳までに多様な体験をすることが重要
7. 空間、時間、方法、コミュニティを正常化させる
8. こどもにとって必要な知恵「仲なおりする、助け合う」は、保育園の砂場で学ぶ
9. 困難を乗り越える人となるこどもの育ち
10. 群れて遊ぶ場
11. 多くの大人に見守られながら育つ環境
12. レジリエントなこどもにやさしい都市を  
— こどもを第一とする運動



こどもは親を選べないのと同様、  
生きる場を選べない。  
生きる場を用意する大人達の責任は重い。  
こども達の未来は日本の未来でもある。  
私達は、こどもを第一とする社会を築かねばならない。

みんなでこどもにやさしい町にしましょう。

# 著書



# 著書

